

77-375

中  
等  
新  
地  
理  
教  
科  
書  
外  
國  
之  
部  
上

明治  
37 2 5  
內交



## 凡例及び序言

本書は世間にありあまれる地理教科書の目録中に更に一の贅物を加へんが爲めに、世に公にせしにはあらず、從來の地理教科書は、多くは普通教育に於ける地理的教科の眞價を發揮せず、従ひて教科目中地理科が最も輕視せられつゝある現状を打破して、少なくとも地理教授の上に革新の機會を與へ、其の眞價を示さんことを期せしものなり。

一、本書は本邦地理の範圍を、嚴密に本邦の域内に限るの見解を採らず、本邦人の活動する所は、即ち本邦地理の範圍たらしめんことを期せり、従つて外國地理に於ても、すべて本邦の見地より之れを記述し、ことに域外に於ける邦人活動の有様を審かにせんことを勉めたり、故に苟も邦人の居留する所は、多少を論ぜず、必ず其の數を記入し、又其の主として従事する職業の種類をも説明せり、又材料の排列の如きも、普通の順序によらずして、成るべく邦人活動の順序を示すの指針たらしめんことを目的とせり、たとへば南洋諸島を説明するに、一は小笠原島より、今一つはハワイより漸次南に向ふて記載し、又シベリア若くは北米合衆國



の記載にも、太平洋沿海地方より始めて、漸次内地に進みしが如し、之れ蓋其の國記載の順序より云へば、或は前後顛倒の場合あるべしと雖も、之れを我が普通教育の地理書として考ふるときは、必ず當然の順序なればなり。

一、中等教育に於て、經濟實業の思想を養ひ、併せて之れが將來の活動舞臺を知らしむるは、地理科の主要なる目的の一なり。従つて外國地理の如きは、殊に重きを此の點に置きて材料を撰擇せり。蓋本會の考ふる所によれば、我が國の現状にては、邦人をして域外の自然物質を利用して、致富の策を講ぜしめんこと、最も急務なればなり。

一、地理科に於て最も必要なるは、個々の自然現象を孤立的に知らしめずして、自然力と人力との結合の結果として、主要なる地理的現象の起る所以を知らしむるにあり。故に從來無意義の地名物産を羅列せし代りに、多少重複の恐れある場合をも忍びて、自然力人力の關係を知悉せしめんことを期せり。故に本書を一讀するものは、何故にオーストラリアアルヘンチナに牧羊業の盛大なるや、又何故にベルギーイギリスドイツのサキソニア地方に、製造工業盛大なるや、又本邦に輸入する重要原料品たとへば棉花米石油等の如き、其の産地と共に輸入額を

も詳かにすることを得べし。

一、本書所載の記事は、國々によりて大に繁簡粗密の度を異にせり。之れ本書が本邦の現在將來に對する關係の多少によりて、材料の取捨撰擇を異にしたるが爲なり。支那朝鮮の如きは、此の趣旨に基きて殊に詳密を加へたり。蓋本會の考ふる所によれば、將來我が中等教育を受けたる人士の常識中には、必ず清韓兩國につき、本書所載以上の知識を有せんことを要するものなり。

一、本書挿圖の如きも、從來の名所繪的圖畫を廢して、成るべく産業貿易等に重要な關係あるものを撰び、又屢、小地圖を挿みて重要地區の地理的關係を明かならしめたり。

以上は聊か本書が從來の地理書と其の撰を異にせる主要の點なり。

本書所載の地名人名の稱呼は、概ね明治三十五年文部省調査報告外國人名地名取調一覽に基き、更に英語を傍記して對照に便せり。又支那朝鮮の地名も右調査報告の方針に基き、開港場其の他人口に膾炙せる名稱にして、舊來の字音に異なれるものに限る。特に其の讀み方を傍記せり。又イギリスフランスロシアドイツアメリカ合衆國の如きは、之れを英佛露獨北米合衆國又は單に合衆國と畧記せる所多し。



本書が採用したる圖表統計は明治三十五年發刊の日本帝國第二十一統計年鑑千九百三年政治家年鑑を主とし、又往々嶄新なる報告に基きて取捨したる所多し。本書の編纂は小田内通敏草野甚太郎兩氏主として其の任に當り、更に本書全體の結構及び材料の取捨撰擇等の如きは、本莊太一郎氏の詳密なる批判によれるものとす。其の他本書の挿圖は、東京帝國大學理科大學人類學教室、其の他外國留學又は漫遊の人々より得たるもの多し、又人類に關する記述は、坪井正五郎鳥井龍藏兩氏に負ふ所多し。今特に茲に明記して感謝の意を表す。

明治三十六年十月

地理教授研究會

中等新地理教科書目次 外國之部上

アジ亞洲	一
總説	一
山脈及び高原	二
河川及び平原	四
海岸及び海面	六
氣候	八
邦制	八
地方誌	一一
朝鮮	一一
支那	二三
支那本部	二五
北支那	二六
中部支那	三一
南支那	四〇



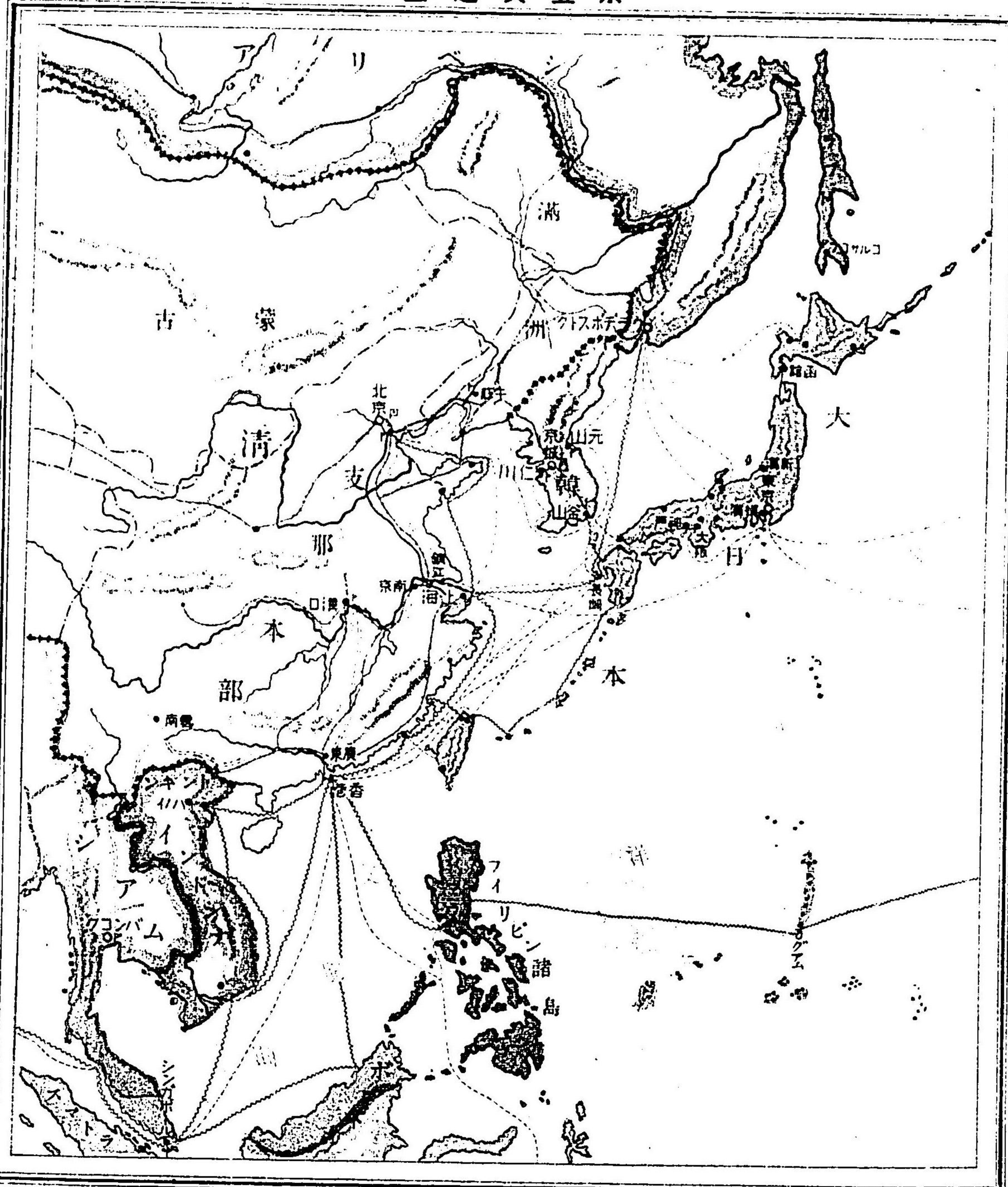
英領香港島	四三
滿洲	四四
蒙古	四六
新疆青海	四七
西藏	四七
インドシナ	五四
シアム	五五
フランス領インドシナ	五七
海峽殖民地	五八
ビルマ	五九
ロシア領アジア	六〇
シベリア	六〇
中央アジア	六六
シフカズ	六八
インド及びベルテスタン	七〇
インド	七〇
ベルテスタン	七六

アフガニスタン	七七
ベルシヤ	七八
アラビア	七九
アジアトルコ	八一
マライ群島	八四
括論	八八
産業	八八
交通	九一
オセアニア洲	九四
總論	九四
オーストラリア	九五
オーストラリア	九五
タスマニア島	一〇一
ニュージラント	一〇二
ミクロネシア	一〇三
メラネシア	一〇四
ポリネシア	一〇六

中等新地理教科書目次 外國之部上



東亞交通圖



1:36000000 縮尺  
 上陸基線 測量成図  
 郵政 電信 鉄道 航路



新地理教科書

外國之部上



アジア洲

ASIA

アジア洲は大洲中の最も大なるものにして、其の大部は北  
温帯に在り。北・東南の三方は大洋に臨み、西方のみ他の大洲  
に接続す。其の位置自ら諸大洲の中央を占め、西にヨーロッパ  
洲・南西にアフリカ洲を控へ、南東は一鏈の島嶼によりてオ  
セアニア洲に連り、アメリカ大陸は、又本洲の北東端に向つ  
て近づく。アフリカとの間には紅海RED SEA及びスエズ地峽SUEZあり。ヨ  
ロッパとの間にはカスピ海・黒海CASPIAN SEA BLACK SEA及びウラル山脈URALあり而し



て北アメリカ洲とは本洲北東端に於て僅かにベールリング海峡を隔つるのみ。

北	シベリア	チエリユスキン岬	北緯七八度
本洲の南	マライ半島	CHELYUSKIN	
東	シベリア	ロマニア岬	北緯一度半
西	アジアトルコ	ROMANIA	
		デズネフ岬	西經一七〇度
		DEZNEUF	
		岬	東經二六度
		BABA	

西蔵高原  
は我が富  
に均し山嶺

本洲は東西百四十四度南北七十六度半の間に亘り、其の面積約二百八十萬方里にして、全世界陸面の約三分一を占む。山脈及び高原 本洲の中央より稍西に偏して世界の屋根と呼ばれる、パミル高原あり。此の高原を中心として諸山脈は四方に分出す。殊にそれより東に向うて出づる三大山脈あり。其の北東に走るものは天山々脈にして、更に同方向に走れるアルタイ山脈・スタノボイ山脈に連る。正東に走る



る。見りよグンリザア  
山トスレベエ  
(山ルカンサリウガ)

ものは崑崙山脈にして、其の脈は陰山・興安嶺の諸脈に連る。又其の南東の方向に走るものはヒマラヤ山脈にして、横断山脈其の東端に連る。崑崙・ヒマラヤ兩山脈の間は、西藏高原にして、其の高さ一萬四千尺乃至一萬六千尺に達し、世界最高の高原とす。パミル高原は稍之れより低し。又崑崙山脈より出づる諸山脈と、天山々脈に連れる諸山脈との間は、蒙古高原にして、其の東部にゴビの砂漠あり。



パミル高原より西に走る山脈は、**ヒンヅ** HINDUKUSH イクシ山脈にして南に走るものは**スレイマン** SULAIMAN 山脈なり。ヒンヅイックシ山脈は、更にカスピ海の南に沿ひて走る**エルブールズ** ELBURZ 山脈に連りて、本洲の北西端に達す。此等諸山脈の蟠結する所に**イラン** IRAN 高原、**アルメニア** ARMENIA 高原、**アナトリア** ANATOLIA 高原を有す。**アラビア** ARABIA 及び**デカン** DECAN の二大半島は、此等中央高地の南にありて、別に高原を成す。此等諸高原は、概ね四方山脈に圍まれ、年中降雨少なく、土地多くは砂漠性なり。

**河川及び平原** アジアに四大平野あり、何れも中央高地より發する大河によりて貫流せらる。天山々脈に連る諸山脈の北は、即ち**シベリア** 平原にして、**レナ** LENA、**イニセイ** YENISEI、**オブ** OB の三大河之れを貫流す。此の平原の北部一帯は、年中多くは氷雪を以て封ぜられ、氷土の中より掘り出す象牙の外産するも

のなけれども、南部には耕作に適する沃地あり。中央高原の東部にありて、太平洋に面する**東部平原**は、本洲中の最も重要なるものにして、自ら三平原に分る。北の平原は**黒龍江** AMUR の流域に屬する**滿洲平原** MANCHURIA にして、中央の大平原は**黃河** HOANGHO、**揚子江** YANG TZ の灌溉する**支那平原** SI-KANG なり。南の平原は**メコン** MEKONG 河の流域に屬す。此等の平原は、氣候は各異なれども、何れも地味肥えて、風土大ひに開けたり。ヒマラヤ山脈と**デカン** 高原との間は、**南部平原**にして、東に地味最も肥沃なる**ガンガ** GANGES、**ブラマ** BRAHMA、**プトラ** PUTRA トラ二大河の流域あり、西に**インド** INDUS 河の流域あり。此等の平原は何れも雨多く、氣候炎熱なれば、熱帯の産物殊に豊かなり。西部のアラビア・イラン兩高原の間に、**メソポタミア** MESOPOTAMIA 平原あり、**チグリス** TIGRIS、**エウフラト** EUPHRATES 兩河の流域にして、地味又肥沃なり。



海岸及び海面 本洲は西の一部を除く外、四方悉く海に  
瀕すれども、沿岸は出入に乏しきを以て、海岸線の延長約一  
萬四千餘里にして、我が國の二倍に當る。東南兩方の海岸は  
港灣に富めり。

東海岸 東海岸一帯は、本洲北東端に於て南東に斗出せる  
カムチツカ半島より、大陸の地勢に従ひて一鏈の島嶼連綿  
として南走し、本洲南東端のマライ半島に至るまでの海岸  
を封鎖し、大陸との間に内海を擁す。此の島嶼は南部のフリ  
ピン及び以南の諸島を除けば、悉く我が帝國の領土にして、  
其の内海の中央部に、朝鮮半島南東に向ひて突出す。朝鮮以  
北の内海は日本海にして、以南は東海なり。東海の南に我が  
臺灣島あり、夫れより以南を支那海とす。此の沿岸は本洲  
東部の大平原を控へ、且つ我が帝國あるを以て本洲中の最

も重要な所とす。沿海は東洋貿易の要路にあたり、横濱・上海・香港等の良港あり。

南海岸 南はインド洋に面し、マライ半島・デカン半島南に  
突出して、ベンガル灣及びアラビア海を擁す。マライ半島の  
南東にはマライ群島横はり、デカン半島の南東にはセイロ  
ン島あり。アラビア半島はアラビア海の北西にありて、東は  
ペルシア灣に臨み、西は紅海に面す。インド洋は歐亞兩大陸  
の交通路に當るを以て沿海にシンガポール・コロンボ・アデ  
ン等の要港あり。

西海岸 アナトリア高原西に突出し、ヨーロッパ洲との間に  
エーゲ海を挟み、北は黒海に面し、南は地中海に臨む。此の地  
方はヨーロッパ洲と僅かに狭き海峡を隔つるのみなれば、古  
より歐亞交通の要路たりし所なり。沿岸にスマイルナ港あり。



北海岸 北極洋沿岸は出入に乏しく、イニセイ灣・オプ灣あるのみ。沿岸は年内殆んど氷結して航通難し。

氣候 本洲の大部は、温帯にあれども、北部は深く北極圈内に入り、南部の島嶼は赤道直下に位するを以て、あらゆる種類の氣候を有す。且つ其の面積は廣けれども、大部は海に瀕せざるを以て、内地に至るに従ひ寒暑の差殊に甚だし。インド洋及び支那海沿岸地方は、アラビヤを除けば、炎熱にして雨多く、中央の高地はアラビヤと共に概して炎熱にして乾燥し、寒暑の差最も甚だし。北部シベリア地方は、嚴寒の氣候久しきに亘る。又本洲の南部熱帯地方には、雨季・乾季の二季あるのみにて四季の區別なし。乾季には日々晴天にて炎熱甚だしく、雨季には多量の雨を降す。

邦制 本洲は地積最も廣く、又太古人類の最も早く開化

に趣ける地なれども、現今歐米人の勢力次第に侵入して其の屬地又は租借地となる所多く、我が帝國を主腦とする東亞の諸國ありて、僅かに之と對立するのみ。

大陸に於て最も重要な區劃三あり。

一、支那にして、アジア東部平原を本據とし、滿洲・蒙古・西藏等を領有す。

二、ロシアの領土にして、シベリア及び中央アジアを支配し

又清國の六遠灣及び旅順口を租借す。

三、イギリスの領地にして、アジア南部平原を根據とし、東

亞に於て香港及び威海衛の租借地を有し、又歐亞交通の要

衝に當れる海峡殖民地及び紅海門口のアデン等を有す。

其の他尙ほ大陸の東部には、滿洲の東に朝鮮あり、ビルマの



東にシ<sup>SIAM</sup>アムあり。シアムの東にフランス領インドシナあり。又西部にはペ<sup>PERIA</sup>ルシア及びトル<sup>TURKEY</sup>コの領土あり。更にヒマラヤ山下のネパ<sup>NEPAL</sup>ール、ブ<sup>BRUTAN</sup>ータン、アラビヤのオマ<sup>OMAN</sup>ーンの如き小獨立國あり。

島嶼には東方に我が大日本帝國及び北米合衆國の領土なるフリピン群島あり。南東にオランダ領のマライ群島あり。

### 地方誌

#### 朝鮮 COREA.

朝鮮は國號を大韓と號し、清國と我が帝國との間に突出する半島國なり。北境には長白山脈聳えて清國滿洲とシベリアとの間を限り、地勢自ら別區を爲す。其の南端は我が九州との間に僅かに朝鮮海峡を隔つるのみ。歴史上通商上又は國防上我が帝國と最も關係深き國なり。

地勢 白頭山脈北方の長白山脈より出て、南に走り、半島の脊骨を爲す。此の山脈は中央より稍東に偏するを以て、東部は地勢峻はしくして平地少なく、從ひて國中の大河と稱すべきもの、中、日本海に注ぐものは北東の境界を流る、  
圖們江あるのみ。之に反して西部には平野連り大河多く、北

白頭山の東に  
山脈の地勢  
は東に傾  
面は西に  
氣候は東  
氣候は西  
等を異に  
す



西の境界を流る、鴨綠江黃海に注ぐ大同江漢江錦江并びに朝鮮海峽に注ぐ洛東江を其の大なるものとす。此等諸



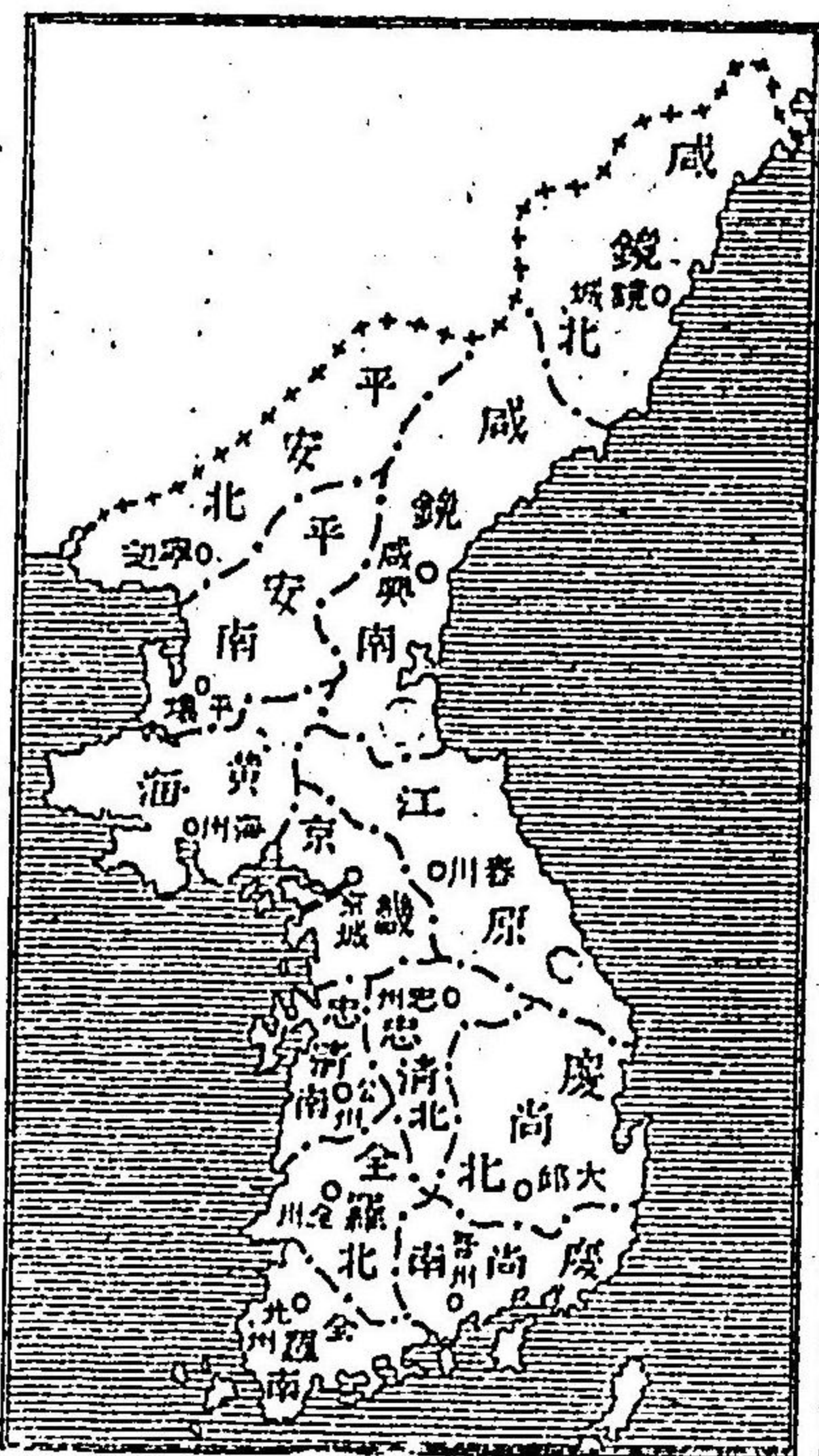
北漢山は京城の北にあり、禿松の生ずる家民鮮朝と山漢北

川の沿岸は地味肥沃にして農耕に適すれども、元來護岸の工事を施さずして水流の氾濫にまかすを以て、荒蕪の地となれる所多し、且つ北境の山脈を除く外、山林の濫伐により水源地の禿山となれる所多きを以て、愈、水害を大ならしむ。此の國の氣候は大陸に續けるを以て、之を同緯度の我が國の中央部に比すれば、寒暑の差甚

だし、殊に北東部を然りとす。南西部は氣候概ね溫和なり。海岸 日本海に面する海岸は斷崖多く、德源灣の外大なる灣入なし。元山津は此の灣内にあり。黃海及び朝鮮海峽に面する海岸は出入甚だ多く、殊に半島南端の沿海には許多の島嶼散布す。從ひて仁川釜山等の良港多し。唯潮の干満の差大なると泥多きため、舟行には不便を與ふること少なからず。

邦制 朝鮮は邦制上、現今十三道に分れ、各道に觀察使を置きて之れを管治せしむ。道の下に府及び郡あり。府に府尹、郡に郡守ありて之れを治む。又府郡の下に面洞里あり。面洞里は恰も我が市町村にあたる。濟州島には特に牧使を置きて之れを管治せしむ。今朝鮮古來の邦制區劃に基き、十三道を大別して京畿・三南





地名及び親察府所在地

關西・關北の四地方とす。

京畿道 半島の中央部

に位し黃海に臨み、漢江臨

津江の流域を包括す。沿海

には江華島を主として大

小許多の島嶼あり。京城は

道の中央部漢江下流沿岸の平野に位し、仁川を其の輸出入

口とす。其の關係恰も我が東京と横濱との如し。京城の北に

高麗の舊都たりし開城あり。人參の産地として其の名高し。

仁川・京城間には我が京仁鐵道あり。

首府京城は一名漢陽と稱す。北に北漢山を負ひ南に漢江を

控ふる形勝の地にして、五百年來の國都なり。周圍に城壁を

めぐらし四方に城門を開く。人口十九萬あり。宮城を景福宮



上海より仁川港を望む  
北東の二方に山脈を以て其の地勢が神に  
類す日本居留地各處居留地の中央にあり

と稱し城内の北部にあり。本邦居留民は二

千八百餘ありて、在留外人中の第一に居る。

本邦人の最も多く居住する所は、泥岬街俗

に日本居留地と稱する所にして帝國公使

館領事館郵便局及び第一銀行出張店を初

めとし、各種の商店備はらざるなし。

仁川港は京城を去ること約十里にして、月

尾島を其の前に控へて最も形勝の地を占

め、朝鮮開港場の第一位にあり。人口一萬四

千あり。内朝鮮人約九千人にして、本邦人五

千餘あり。輸出品の重要なものを米穀と

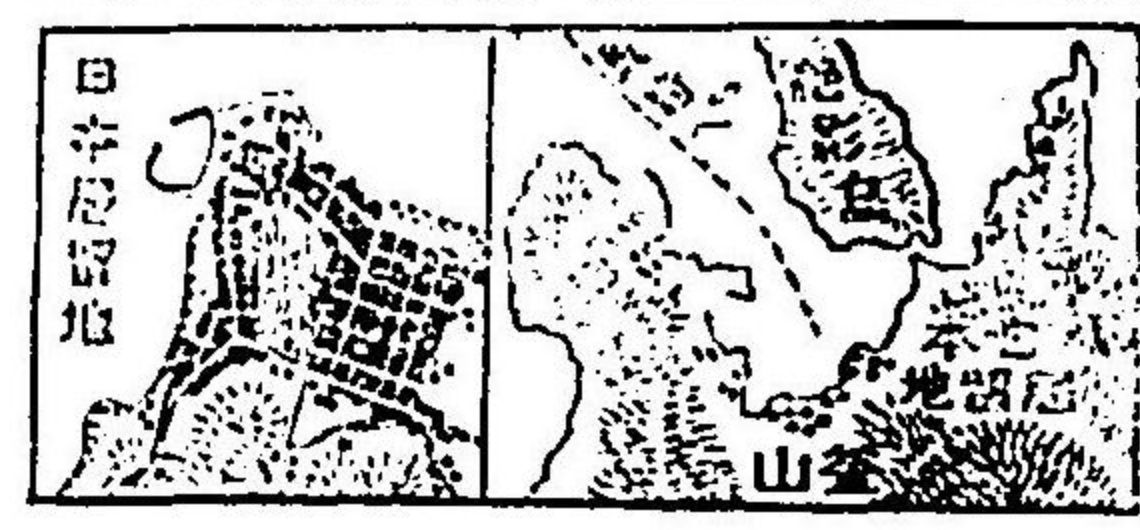
し、紅參大豆等これに次ぐ。紅參は支那に、米

穀大豆は本邦に輸出す。我が國よりは金巾



三南地方は會て我が  
が所領にた  
りし忠清に  
全羅は百濟  
慶尙は故地  
羅の故地  
なり

綿布・紡績絲・絹布・燐寸・石炭等を輸入す。日本居留地は、市街中  
央の好地位を占め、帝國領事館・郵便局・銀行・會社等多し。  
三南地方 朝鮮半島の南部にして、京城の南にあたる忠  
清・全羅・慶尙・南北道を包括し、朝鮮主要の米産地なり。従ひて  
朝鮮の富は三南にありと稱せらる。忠清・全羅は錦江・榮山江  
等の流域にして、錦江の口には群山あり、榮山江の口には木  
浦あり。慶尙・南北道は其の東部に白頭山脈連り、洛東江其の  
西部を貫流す。其の河口に近き所に釜山あり。三南地方の  
西より南にかけてたる一帯の沿海面は、朝鮮の多島海にして、  
其の遙か南方に濟州島あり。海岸に近き所に巨文島・巨濟島  
等無数の島嶼あり。此の多島海一面は我が漁民の好漁場な  
り。京釜鐵道は京城より起り、三南地方を貫きて釜山に達す  
る計畫なり。目下京城釜山兩端より工事中に屬す。



### 釜山浦

日本居留地の中央に釜山の頭山あり  
松林にして前面に絶影島あり

釜山浦は半島の南東端にあり、絶影島其の前  
に横はり、港内水深く、古より日韓貿易の要地  
にして、日本郵船會社又は大阪商船會社の定  
期船に乗れば、馬關より十時間にして達すべ  
し。我が居留地は灣の西部にあり。在留民七千  
餘人あり。帝國領事館・郵便電信局等あり。商業  
貿易其の他諸般の機關具備すること、我が内  
地と異らず。米・大豆・牛皮・海産物等を輸出し、金  
巾・紡績絲・綿布類・石油等を輸入す。又毎年此の  
地を根據とし、我が漁民の出稼するもの一萬  
人以上に上り、漁利甚だ大なり。馬山浦は釜  
山の西にあり、開港以來日なほ淺ければ、商況  
未だ盛んならず。帝國領事館郵便局ありて在



留民二百餘人あり。釜山の北東に有名なる蔚山あり。  
 木浦は沿海に島嶼多き半島の南西端にあり。港内水深く汽船は岸際に横付けするを得べし。且つ氣候の溫暖にして、風光の明媚なることは、朝鮮第一と稱せらる。帝國領事館郵便局ありて、在留民約一千人あり。主として米を輸出す。群山浦は木浦の北方錦江の河口にあり。帝國領事分館郵便局ありて、在留民約六百人あり。輸出品は米・大豆を主とす。

**關西地方** 京城の北西にある黃海道平安南北道を包括し、北は鴨綠江により清國と境を接し、中央部は大同江の流域に屬し、平野よく開けたり。其の沿岸に平壤・鎮南浦あり。北部の山地は、松杉樅等を産す。海岸は三南地方に反して、屈曲少なく良灣に乏し。此の地方は京城より清國に通ずる要路にあたる。

平壤は又  
 西京と云  
 ひ箕子以  
 來九百餘  
 年問干都  
 のありし  
 地なり

平壤府は大同江の右岸にありて、京城以北に於ける唯一の大都會なり。府内には牡丹臺・乙密臺・玄武門等、日清戦役の史蹟多し。汽船は江口の鎮南浦との間を往復し、商況盛んなり。帝國領事分館ありて、在留民二百餘人あり。輸出品は砂金・大豆を主とす。鎮南浦は大同江の口に位し、平壤の輸出入港にして、仁川との間に汽船の往復あり。帝國領事館ありて、在留民各四百あり。義州は鴨綠江の左岸にあり。對岸には滿洲の九連城ありて、清國との貿易盛んに行はる。

**關北地方** 京城の北東に位する江原道咸鏡南北道を包括す。半島中の山地にして、長白・白頭兩山脈域内に連り、北境には松杉類の良材に富み、又山中には虎豹多し。地味瘠せて都邑少なし。海岸は頗る奇景に富めども、屈曲乏しく、僅かに德源灣あるのみ。沿海は明太魚・鱈・鯨・海鼠等の漁利に富み、近

江原の東  
 日本海上  
 に蔚山島  
 一に松島  
 あり名好  
 あり良島  
 の木材に  
 富む



頃亦臘肭獸の漁場發見せられたり。

元山港は德源灣内にある日本專管居留地にして、韓人の市街は元山里と稱し、其の南にあり。港内水深く仁川釜山に次ぐ開港場なり。砂金、米、大豆、牛皮等を輸出し、木綿、金巾、紡績絲、食鹽等を輸入す。帝國領事館郵便局ありて、在留民は一千五百餘人あり。城津は其の北東にある開港場にして、帝國領事分館郵便局あり。

産業 此の國は地方により、氣候に大差あれども、地味は概ね宜しきが故に、農業、牧畜盛んに行はる。殊に三南地方は氣候も溫和にして、農産最も豊かなり。農産の主なるものは、米、大小豆、麥、麻、人參等とす。牧畜は盛んに行はれて、多く牛、騾、犬を養ふ。犬は其の皮を敷物とし、肉を食料とす。林産は北境の山中に松、杉、樅を産す。鑛産は金、銅、鐵、石炭を産す。

とも其の額多からず。水産は東海岸及び南海岸殊に豊かなり。其の主なるものは、鯨、鱈、鯛、鰻、鮪、鮑、海參、鱈、鱒等とす。又韓人の嗜む所の明太魚は、咸鏡道沿海に多く産す。

交通 道路甚だ悪しく、降雨數日に亘れば通行すること能はざる所多し。鐵道は我が國人の手になれる京仁鐵道（二六哩）あり。京釜鐵道亦敷設中に屬す。又各開港場間の航路は、殆んど我が日本郵船會社及び大阪商船會社の獨占にして、郵便線電信線の如きも、多くは我が國人の手中にあり。

商業 内地にては、毎月二三回市場を開き、行商其の間を往來して、人民の需用に供するを常とす。外國貿易は帝國支那、イギリス、ロシアの間に行はれ、仁川釜山元山の商況最も盛んなり。輸出品は米、大豆、麥、牛皮、海産物、紅參、海藻等にして、輸入品は金巾、寒冷紗、綿紗、紡績絲、毛布、燐寸、石油、煙草等なり。



我が國へは米・大豆等を輸出し、又我より紡績絲・綿布・燐寸・石炭等を輸入す。

**住民** アジア系統中の韓族にして、京畿及び三南地方は人口殊に密なり。本邦人は在留外人の首位を占め、總數二萬二千餘人あり。國民に兩班・中人・常人・奴隸の四階級ありて、其の制甚だ嚴重なり。兩班は貴族にして文武の權を握り、社會上最も重要な位置を占め、中人は僅かに下級の官吏に用ゐらるゝを得るのみ。常人は實業に従事し、官吏となるを得ず。奴隸は重罪を犯し、者の家族にして、公賤・私賤の別あり。

**政治** 政體は君主專制にして、中央政府は議政府及び外部・内部・度支部・軍部・法部・學部・農商部・警部の九部より成る。議政府は我が内閣に相當し、議政(總理大臣)は各部の大臣と國政を議す。別に宮内府ありて、皇室に關する一切の事務を掌る。兵

備は京城を守備する侍衛聯隊地方に分營する鎮衛聯隊等總數五千人内外あるのみ。教育は普及せず、僅かに私塾を開きて經書・詩文・習字を教ふるものあるのみ。文字は諺文として一般に通用するものあれども、公文はすべて漢文を用ゆ。宗教は何れも振はず。儒教は上流社會の尊信する所なれども、徒らに形式に流る。佛教は昔盛んなりしが、今は全く衰へ、京城には寺院の建立すら許されず。耶蘇教の信徒も多からず。國民の多數は巫女を信じ、迷信に陥るもの多し。

## 支那 CHINA

支那はアジアの中央高地及び東部平原の殆んど全部を包有する大國にして、國號を大清と云ふ。世界中最も多くの民衆を有し、其の面積も亦最も廣大にして、イギリス・ロシア兩



國の全領土に比して劣れるのみ。朝鮮と同じく歴史上通商上國防上、我れと最も關係深き國なり。

地勢 支那は地勢上之れを二大部に分つ。即ちアジア州の中央高原地と、それより東に向ふて傾く東部平原の大部と之れなり。

中央の高原地は、**西藏**・**蒙古**の兩高原にして、**西藏**高原は地勢稍南東に傾き、域内湖水多くして、**黄河**・**揚子江**等諸大河の源を爲す。蒙古高原は其の東部に**ゴビ**の砂漠横り、西部も亦砂漠性の土地多し。

アジア東部平原は、南部メコン流域を除けば、支那の領土にして、北部の**滿洲平原**は、大部森林を以て蔽はれ、北は**松花江**・**黒龍江**の流域にして、地味肥え、南は**遼河**の流域にして、**渤海**灣に傾き田野開けたり。

中央の支那平原は、いはゆる支那本部にして、**崑崙山脈**の支脈東に向ひて、恰も**三本の指**を擴



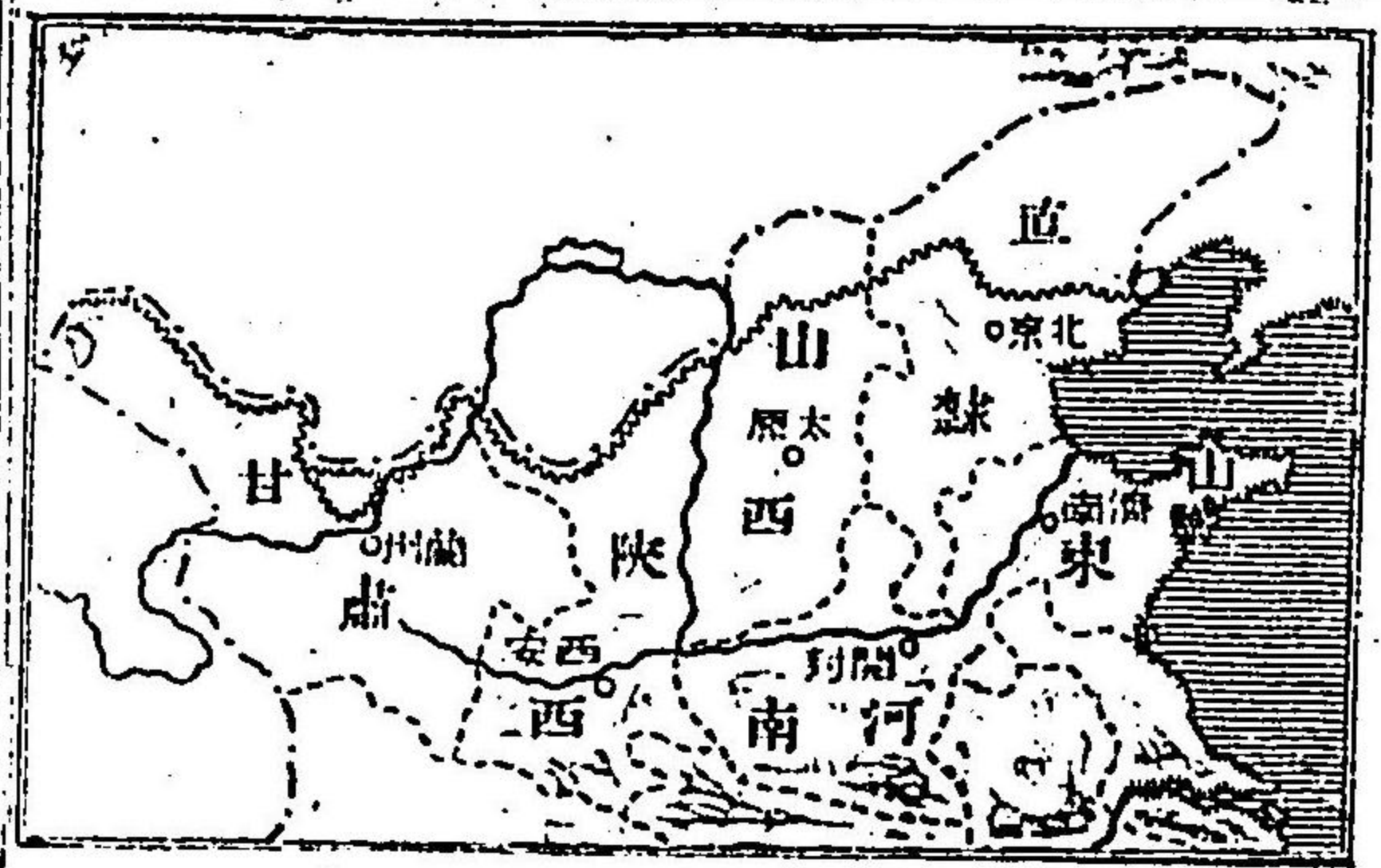
げたる如く其の間に分出す。即ち**陰山**諸山脈は北東に、南嶺は南東に、而して北嶺は正東に向ひて連り、其の間を流るる河流の分水界をなし、地勢を三分す。北部の**陰山**・北嶺間は**黄河**・**白河**の流域にして、**白河**の流域に國都**北京**あり。北嶺・南嶺間は**揚子江**の流域にして、其の河口に近き所に**上海**・中流の沿岸に**漢口**あり。南嶺の南は**珠江**の流域にして、其の河口に**廣東**あり。

邦制 支那は邦制上大別して、**支那本部**・**滿洲**・**蒙古**・**新疆**・**青海**・**西藏**とす。

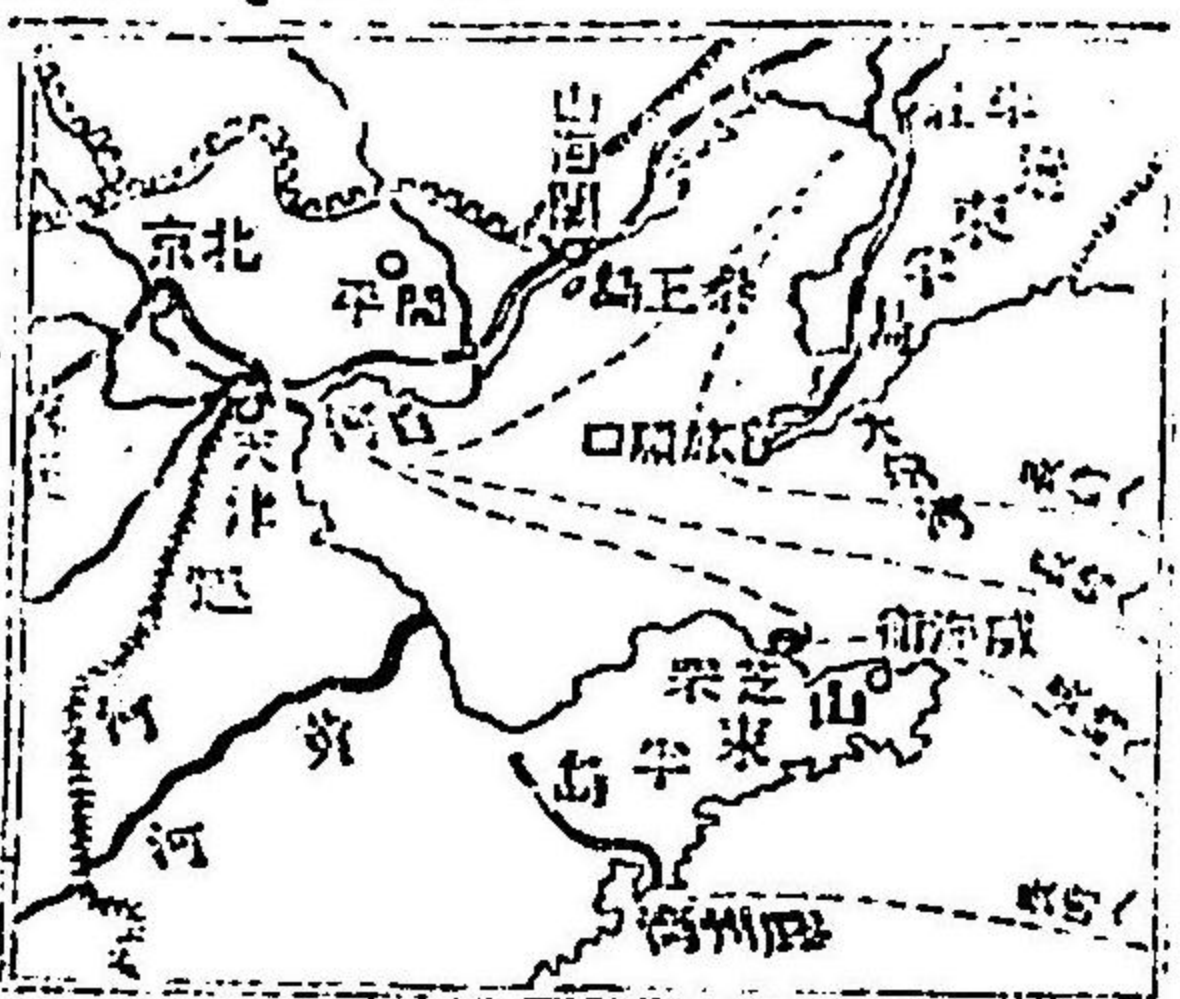
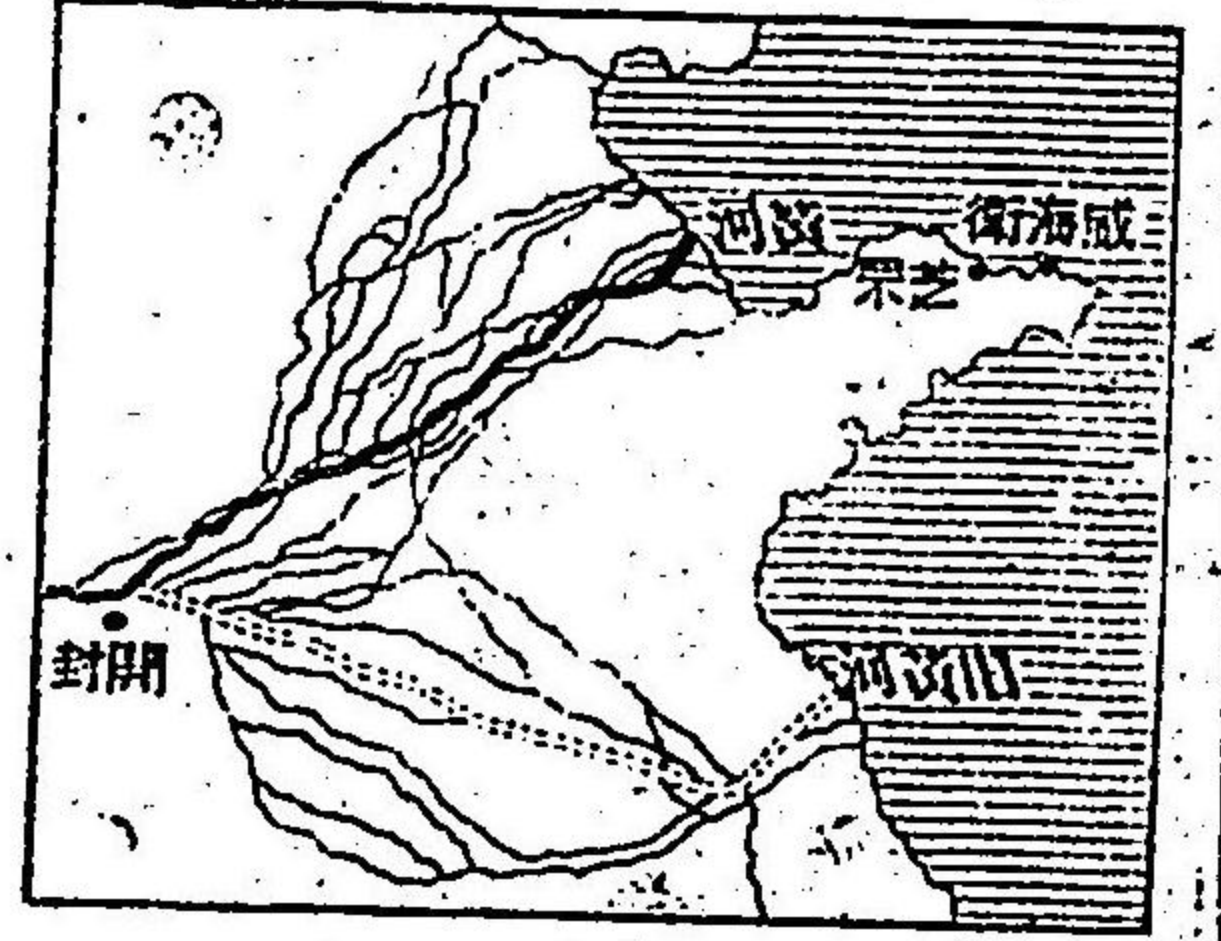
支那本部 即ち漢土の地にして、全領土中最も重要な地域とす。人口の如き九割九分までは本域内に集る。之れを十八省に分ち、更に北・中・南の三部に大別す。



黄河は毎年洪水を起し、沿路を變じ、水は常に岸を離れ、大災を蒙るに之が爲は、害を蒙る



北支那 蒙古高原と北嶺山脈との間にあ  
る地方の總稱にして、其の大部は黄河白河  
の流域とす。渤海灣頭の山海關より起りて  
西走すること八百餘里、甘肅省の北西部に  
達する萬里の長城あり。地勢は  
北嶺の諸山脈東西に亘りて、黄  
河揚子江の分水界をなし、北部一帯は陰山々脈  
に連り山嶽多し。東部には別に山東半島の山地  
あり。黄河は西方の青海地方より來りて、其の間  
を縦横に貫流し渤海灣に入る。黄河本支流の  
灌溉する平野は肥沃なる黄土を以て掩はれ、地  
味概して良好にして、大都の發達に適すれども、  
山地は礫瘠にして、鑛産の外物産に乏し。

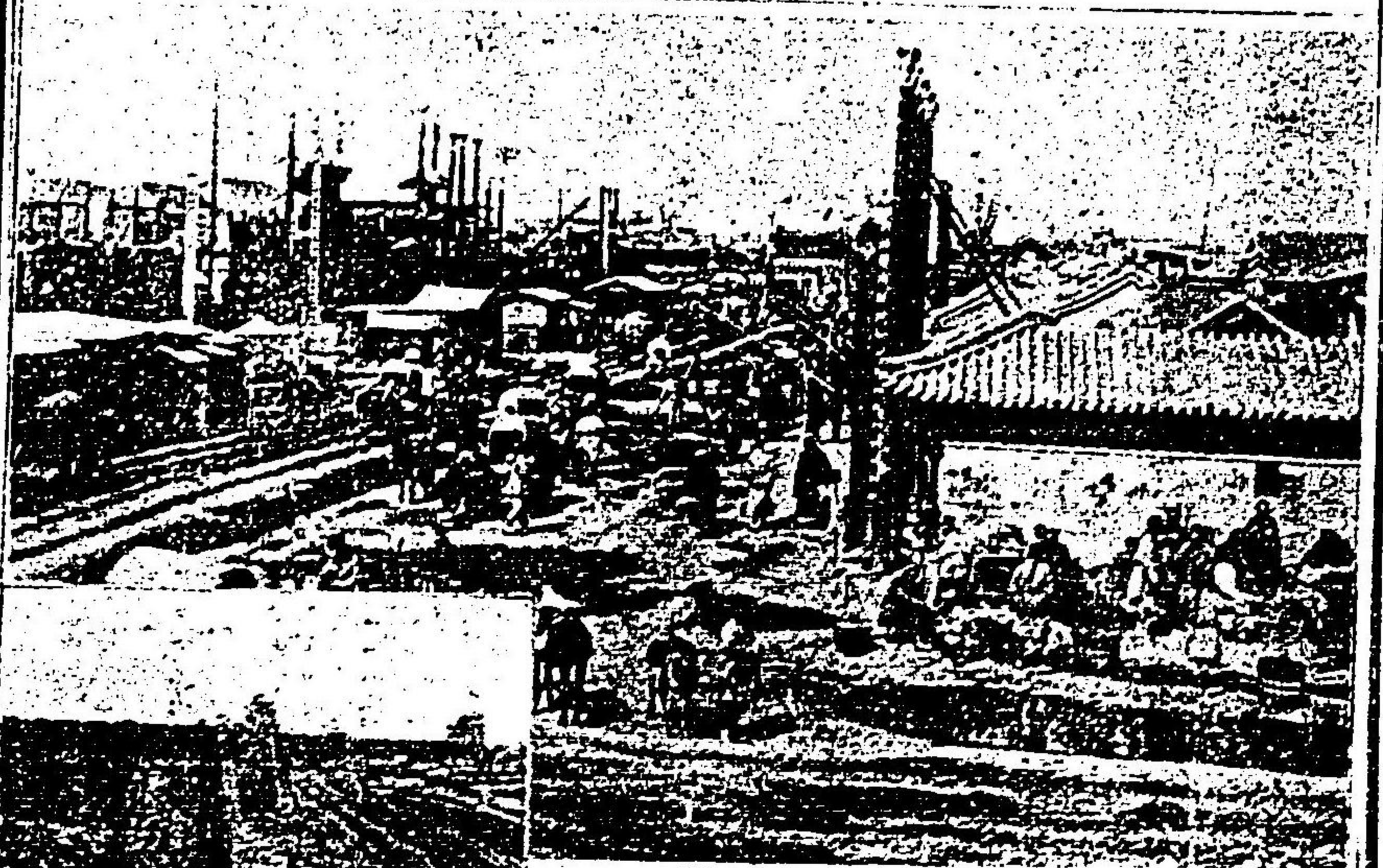


津保定の大都會あり。渤海灣沿岸には白河の口に太沽あり、

其の北東滿洲の要路にあたる山海關附近に、灣内第一の良  
港秦皇島あり。鐵道は天津を起點として一は北京及び保  
定を連ね、他の一は渤海灣頭に沿ひて北進し、石炭を以て有  
名なる開平を経て山海關に達す。山西は直隸の西、黄河と  
の間にある地方にして、省内平地少なく、鐵石炭に富めども、  
地味瘠せて物産乏し。従ひて人民の他に出稼するもの多し。



北天北明し天北  
京府京遼の遼府京は  
とは金都に都金とは  
元せ元元元元元元  
順元元元元元元元  
順元元元元元元元  
順元元元元元元元  
順元元元元元元元



北京の市街及び其の城郭の概況

市街は其の首府太原は黄河の支流  
に臨み毛氈を産す。  
國都北京は白河北岸の平野  
にあり、四方に長方形の城郭  
を回らし、郭内を内外二城に  
分つ。内城には皇宮、諸官衙、各  
國公使館等あり。市街は廣闊  
なれども極めて不潔なり。貿  
易市場にあらざれば、商業は  
盛大ならず。帝國公使館、郵便  
局あり。本邦人の在留するも  
の二百餘人あり。天津は白  
河に臨み、鐵道により北京に

山東は戰  
國の齊の  
故地なり

通し、運河により黄河揚子江の沿岸と通ずるを以て、水陸運  
輸の便大にして、北支那第一の市場なり。人口百餘萬あり。帝  
國總領事館、郵便局ありて、在留民一千餘人に達す。太沽は  
白河の口にあり。天津、北京に通ずる要津たるを以て、日々數  
百のジャンク上下す。日本郵船會社は神戸より定期航路を  
開始し、毎月二回汽船の往復を爲す。

山東・河南

SHANTUNG HONAN 黄河の南に位する地方にして、河南省の南西部

及び山東半島一帶は、山地多けれど其の中間は直隸に連れ  
る沃野にして、地味豊沃、氣候溫和なり。山東半島の東端を  
山東角と云ひ、それより以西渤海灣沿岸には芝罘及びイギ  
リスの租借地威海衛あり。又山東角以南黄海沿岸にはドイ  
ツの租借地膠州灣あり。又内地黄河の南には河南省の首府  
開封あり。又河東には山東省の首府濟南あり。

開封府は  
魏の故都

KAIFONG

濟南府は

JIINAN



都の地に大  
梁の地は其の  
西に洛陽あり  
の地は古の

芝罘は開港場の一にして、港内水深く、巨船を泊するに足る。帝國領事館、郵便局ありて在留民百餘人あり。日本郵船會社の定期寄港地なり。大豆、豆餅、繭紬を出す。此の港の氣候は最も健康に適するを以て、夏期支那在留外國人の避暑地となり。又白河水結の間は、天津、其の他に輸送すべき貨物皆茲に集まる。

陝西 甘肅

陝西は山西の西、黄河以西の地方にして、中央に

關中は最  
險の地  
に此の古  
より此の  
地は天下  
者稱之曰  
天塹也  
北極あり  
の光緒  
帝の緒  
と共此  
の地に  
あり

黄河の支流渭水東流して、有名なる關中の平原を爲す。此の平原は氣候溫和にして地味肥え、物産饒かにして、首府西安は其の中央にあり。渭水流域の南は北嶺の山脈東西に連りて、其の南側はすべて揚子江の流域に屬し、漢江上流の地なり。其の中央に四川省に通ずる要路にあたる漢中府あり。漢中府より四川の成都に通ずる間に、有名なる蜀の棧道あり。

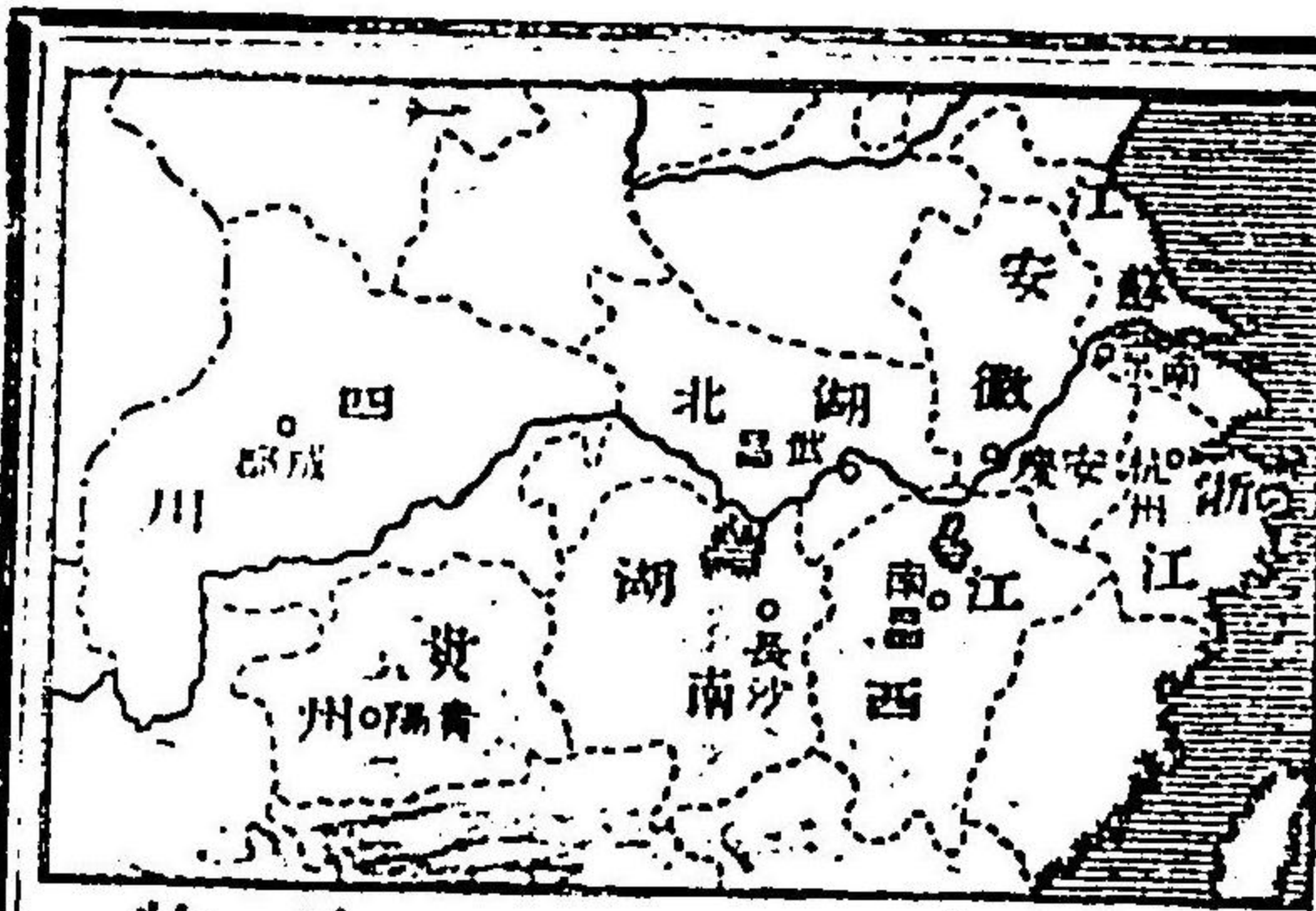
り、省内羊毛、大麻等の物産に富み、牧畜亦盛んに行はる。甘肅は陝西の北西にある黄河上流の地方にして、山地には金銀を産し、又河域には煙草の産出多く、牧畜亦盛んに行はる。氣候は甚だ不順なり。首府蘭州は黄河に臨み、陝甘總督の駐在地なり。

西安は漢唐の古都、長安の地にして、渭水の南に瀕し、人口百萬あり。環らすに堅固なる城壁を以てし、主要の街衢は盡く盤疊す。地勢最も險要なり。北西の咸陽は秦の故都にして、附近に阿房宮趾あり。

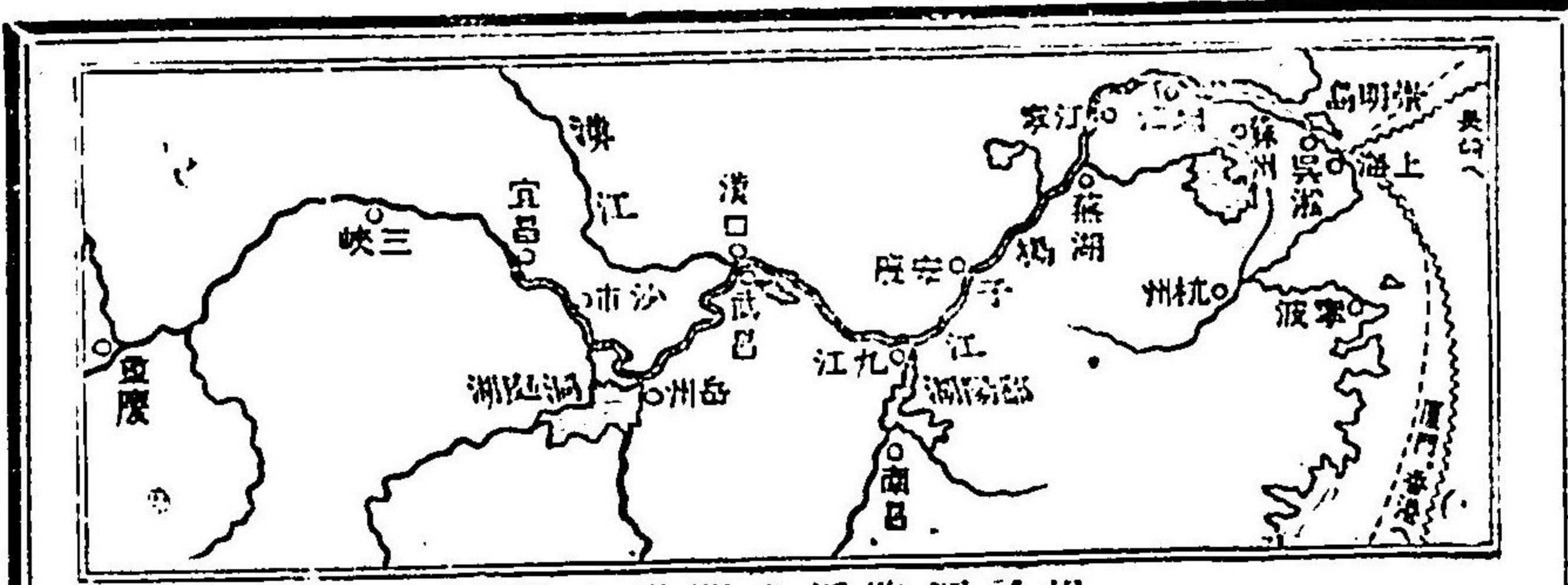
中部支那 北嶺と南嶺との間にある揚子江の流域にして、支那本部中の主要なる部分なり。北嶺は四川、湖北の北部より、南東の方向に走り、南嶺は貴州の南部より、數條の山脈となりて、北東の方向に走り、浙江の海岸に達し、更に其の脈を



舟山列島に延く。揚子江は西藏東部の横斷山脈の間を流れ、四川の南部に出て、大河となり、巫峽の險を過ぎて湖北の野に出てたる後、宜昌より河口に至るまで殆んど四百里の間、流れ緩にして大汽船を通ず。中部支那の盛大なる都會は、概ね其の本支流に臨めり。



**江蘇安徽浙江** 揚子江下流の地にして、江蘇浙江は中部支那の沿海省なり。地勢は浙江の中央以南の地に、南嶺の山脈連り、安徽の南部に北嶺の餘脈亘れる外は、概ね平坦にして、揚子江は其の中央部を東西に走り、大運河は又之れを南北に貫き、最も水運の便に富めり。氣候は温暖にして春夏の候雨多し。地味肥沃、物産最も豊かにして、棉蠶絲米を特産とす。江蘇の



沿岸は平直にして出入に乏しく、揚子江の河口に崇明島あるのみ、されど浙江の沿岸は杭州灣を初めとして、良港灣頗る多く、沿海には舟山列島等の島嶼亦多し。都會は吳淞江右岸の上海を主とす。**上海** 揚子江口を溯り、左折して吳淞江に入り、更に同江を溯れば、其の右岸に上海あり。揚子江及び北支那諸港の貿易は、悉く此の地に集まるを以て、實に支那貿易の中心地なり。人口六十二萬あり。輸出品の主なるものは、蠶絲、棉花、麥稈、眞田、鶏卵等にして、輸入品の主なるものは、綿布(主に金巾)、綿絲、阿片、鐵類、毛織物、石油、砂糖等とす。諸國汽船の寄港するもの多く、イギリス其の首位に居り、ドイツ之に次ぐ。我が大阪商船會社は本港と漢口との間に定



蘇州は周代吳の都にして姑蘇山寒山寺等の故跡多し  
杭州西湖の風光を以て稱せらる  
寧波はもと波羅人及トガ邦人との交易に便せし所なり  
上海は三都の第一にして通商の便を以て稱せらる  
寧波はもと波羅人及トガ邦人との交易に便せし所なり  
揚子江は揚子江の東にあり揚子江に臨み且つ大運河の通路にあ

期航路を開き大東汽船會社亦本港と杭州蘇州鎮江との間に運河航路を開く。又日本郵船會社は横濱と本港との間に毎月二回乃至四回の定期航路を開けり。帝國總領事館正金銀行支店郵便局等ありて、居留民千五百人あり。蘇州は上海の北西にあり、運河によりて揚子江に通じ、開港場の一なり。附近の地方は、養蠶業盛んにして、絹織物の産夥しく、人口五十萬、帝國領事館及び郵便局あり。杭州は錢塘江の北岸に臨み、天津に通ずる大運河の起點なるを以て、水利最もよろしく、其の主なる産物は絹織物にして、頗る精巧を極む。人口七十萬、帝國領事館郵便局あり。寧波は杭州の東方にあり、開港場の一にして海産物の市場たり。又絹布、棉花、生絲等を輸出し、主に上海と取引す。人口二十萬五千あり。

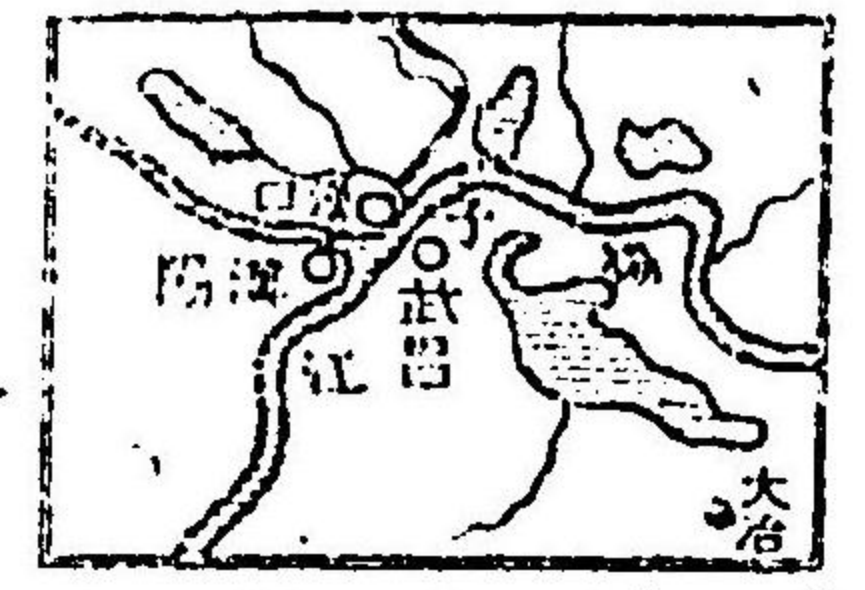
江寧は揚子江の右岸にあり、開港場の一なり。昔は南京と稱し、屢帝都たりし地にして、形勝全國に冠たり。規模大なれども、現今の市街は僅かに南西の一小部を占むるのみ。人口三十餘萬。此の地の陶器及び緞、綢、絞織は鎮江の産と共に、其名高し。兩江總督此に駐在す。帝國領事分館郵便局あり。鎮江は江寧の東にあり、揚子江に臨み、且つ大運河の通路にあたるを以て水利宜しく、四面山をめぐらし、風景頗る秀麗なり。此の地は鹽の集散場にして、商況殊に盛んなり。綢、絞織の織物等全國に冠たり。蕪湖は江寧の南西にあり、揚子江の南岸に沿ひ、開港場の一なり。市街の整然たること支那諸省に於て稀に見る所にして、製絲、製茶の業盛なり。四川地方より此の地に筏乗するもの多く、木材を大筏に編み、其の上の家屋を構へ、家畜の類を飼養して、揚子江を下り、沿岸の都會



にて其の一部づゝを賣り、以て此の地に至ると云ふ。

**湖北・湖南・江西** HUBEI HUNAN KIANGSI 揚子江中流の地方にして、湖北は其の北に位して、支流漢江の流域に屬し、江西及び湖南は揚子江の南に位し、湖南は洞庭湖四周の地方にして、江西は鄱陽湖四周の地なり。河湖の流域は氣候溫暖にして、舟楫の利に富み、地味肥沃、産物豊かにして、湖北は棉、鴉片を特産とし、湖南江西は茶を特産とす。都會は漢江揚子江の會合點に位する漢口を主とす。北嶺山脈は湖北の東西北三境を圍み、又南嶺山脈は湖南江西の東西南三境を限りて、三省共に揚子江に面する一方のみ開けたり。殊に湖北の西境には、南北嶺の山勢相迫りて揚子江の兩岸をせばめ、有名なる**巫山**の峽をなす。湖北の山地には銅鐵を産し、江西湖南は石炭等の鑛産に富む。

内地商業の中心地



武昌の近傍に有名なる赤壁の勝あり

漢口は支那内地商業の中心地に位して、揚子江と漢江との會する所に臨み、其の位置四通八達、水陸交通の便最も大なり。従つて中部支那諸省物貨の大集散地となり、貿易の盛大なること上海に次ぐ。人口八十五萬、輸出品の主なるものは茶、豆類、豆糟、藥材、木油等にして、輸入品の主なるものは綿絲、棉花、絹織物、砂糖等なり。磚茶、燐寸の大製造場あり。帝國領事館、郵便局あり。又我が專管居留地あれども、居留民は僅かに七十餘人に過ぎず。大阪商船會社は此の地より揚子江上流の宜昌に至る間に定期航路を開けり。

**武昌漢陽** WUZHANG HANYANG は漢口と相對して鼎立の勢を爲す。武昌の住民は半は船居し、水上別に市街を爲す。武昌には紡績及び絹織物を製出する紡紗局あり。湖廣總督の駐在地とす。漢陽には兵器を製作する槍砲局、製鐵を専らとする鐵政局あり。武昌



の南東に天冶鐵山あり、鑛質良好なり。我が若松製鐵所は漢陽の鐵政局と特約し、之れを購入して其の原料となす。沙市は漢江の西にある開港場の一にして、帝國領事館、郵便局あり。其の北西の宜昌もまた開港場の一にして、此より以西には巫峽の險ありて、巨船を通ずる能はざれば、四川省に送るべき貨物は多く、此の地にて一旦陸揚げするを以て船舶の集まること夥し。

九江は開港場の一にして、鄱陽湖の揚子江に通ずる處にあり、貨物の集散夥しく、茶紙の輸出盛んにして、又歐洲諸國に陶磁器を多く輸出す。岳州は洞庭湖の揚子江に會する所にあり、開港場の一なり。

四川は面積が邦より稍大にして人口は七千

四川貴州 揚子江上流の地方にして、四川は其の北にありて貴州は其の南に位す。四川は古の蜀の地にして、支那本

萬ありいはゆる守に易く攻むるに難き要域とす。

部中最大の一省なり。地勢は北と西とに北嶺及び横斷山脈連れども、中央部は揚子江支流の流域にして、地勢平坦に地味豊沃、物産の多きこと全國に冠たり。農産にては茶、蠶、絲、鴉片を産し、鑛産には石炭、鐵銅を出し、又西部に石油井あり。氣候も稍溫和なり。貴州は昔の蠻夷の地にして、支那太古の民族三苗等の蠻族多く、四方南嶺山脈に圍まれ、河流域のみ稍平かなり。地味瘠せたれども、各種の鑛物殊に水銀に富めり。

重慶は揚子江と嘉陵江との會する所にあり、開港場の一にして、省内の市場なるのみならず、揚子江上流地方の貨物の集散地なり。帝國領事館あり。成都は其の西北にあたり、岷江に瀕す。古の蜀の都にして、市街の壯麗なること、支那第一と稱せらる。織物、染物、刺繡等の工業盛んなり。四川總督こゝ





に駐在す。  
 南支那 南嶺以南の地にして、其の餘脈域内に連りて山地多く、珠江其の間を東西に貫通す。福建は別に閩江の流域に屬し、又雲南の西部は横断山脈MINKIANG南北に走りて、インドシナ諸大河の上流をなす。  
 福建FUKIEN KUANGTUNG 南支那の沿海省にして、南嶺の山脈省内に連る。殊に福建は山地多く、其の間を流る、閩江は、流れ急にして水運の便少なし。之れに反して珠江の沿岸は平野遠く開け、物産の饒多なること四川と並び稱せらる。南支那貿易の中心市場たる廣東を主とし、有名の都會多し。沿海一帯は、出入頗る多くして良港灣に富み、又島嶼多し。FUCHAU AMOY SWATAO 福州、廈門、汕頭、香港、澳門の貿易港は、概ね其の海岸又は島嶼の上に立てり。福建の對岸に我が臺灣



廣東東港

島横はり、其の間に臺灣海峡をなし、又南方雷州半島の南には海南島あり。氣候は溫暖にして熱帶性を帯び、茶、砂糖の栽培に適し、又海産物に富む。廣東人は最も商業に長ず。  
 廣東は南清貿易の中心市場にして、支那諸通商港中第三位に位し、人口百六十餘萬あり。珠江の北岸に臨み、香港と相對す。市街狹隘にして、人民河上に船居するもの多し。輸出品は絹を主とし、茶之れに次ぐ。香港の貿易盛大となりしより、此の地の貿易は頗る不振となれり。汕頭は廣東の東方海岸に臨める開港場にして、近海漁利多し。  
 福州は開港場の一にして、閩江の北岸にあり。閩浙總督の駐在地たり。昔より外國との貿易場にして、人口



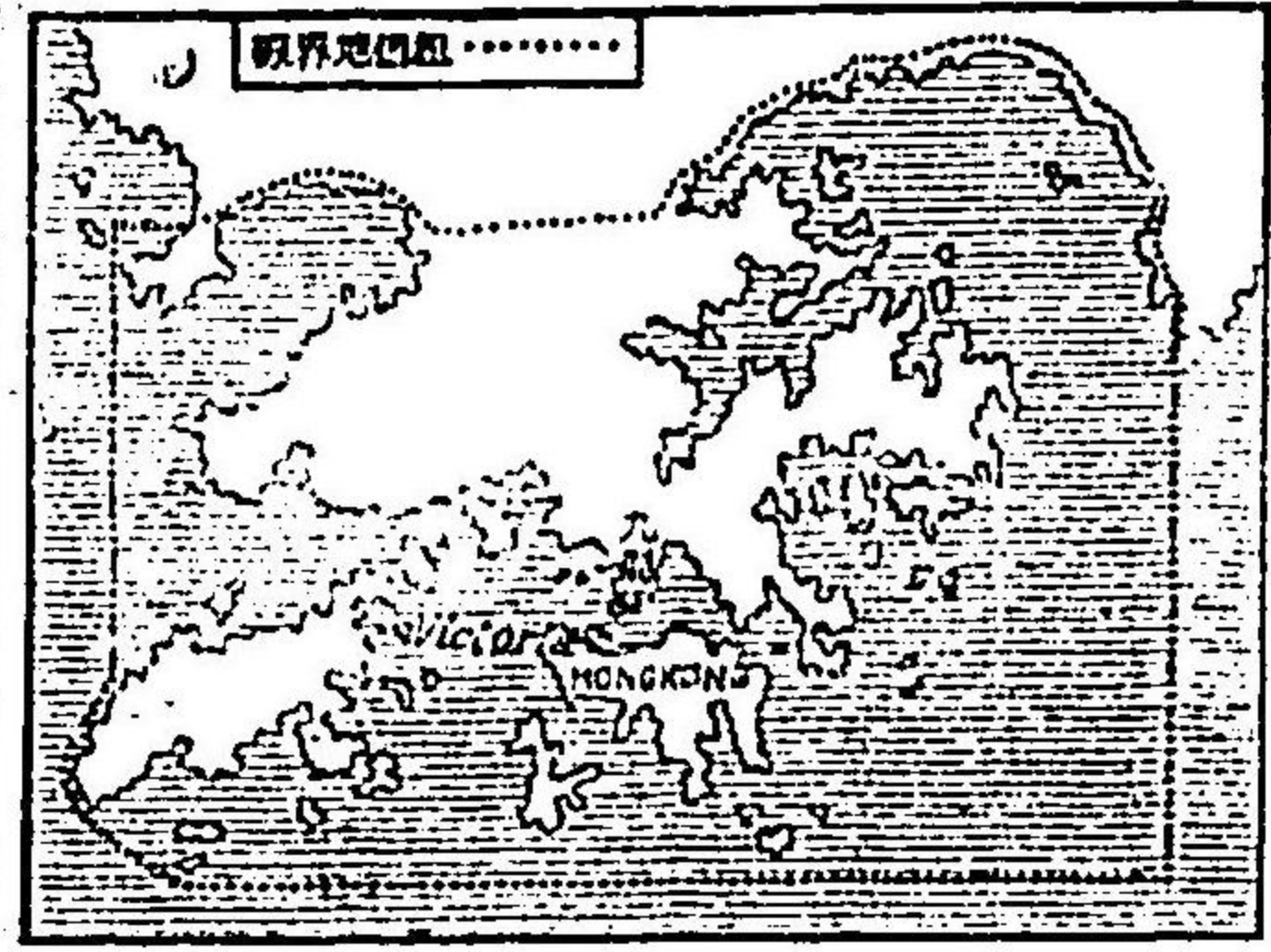
百萬あり帝國領事館郵便局ありて在留民百餘人あり大阪商船會社は本港と香港三都澳興化との間に定期航路三線を開く。馬尾は福州の東にありて閩江に臨める小都邑なれども有名なる船政局あり。



廈門は福州の南西にある一小島上に位し市街は其の南西岸にあり開港場の一にして帝國領事館郵便局あり居留民約八百人を有す我が臺灣の淡水及び安平より十六時乃至十八時間を要し共に大阪商船會社の航路にあたる福建沿岸の諸港は我が臺灣の對岸にあたるを以て貿易上軍事上最も緊要の地とす。

廣西・雲南 珠江上流の地方にして域内山地多く河流は急湍多くして舟楫に便ならず山地には三苗等の蠻族居住す

東洋貿易の中心市



流域には平地乏しからざれども土地未だ開けず氣候不良にして物産饒かならず珠江に臨める梧州は開港場なり。英領香港島 珠江の口にある一小島にして九龍半島と相對し天然の良港なり其の市街をビクトリアと稱す上海と共に東洋貿易の中心市場にして其の貿易は主に支那イギリス本國インドオーストラリア合衆國ドイツ及び帝國との間に行はれ其の過半は支那貿易とす本港は自由貿易港たるを以て輸出入額は詳かならざれども貿易品は主に阿片砂糖麵粉食鹽等にして支那の茶及び絹も亦主なる商品なり我が國へは砂糖を輸出し我が國よりは銅羽二重石炭綿布燐寸樟腦絹手巾等を輸入す對岸の九龍半島附近亦英領に屬し其の開港場九龍はビクト



リア市と相對し、其の關係恰も我が馬關と門司との如し。人口は兩市を併せて二十七萬七千餘にして、内支那人二十七萬あり。香港の西にある澳門は、ポルトガル領の開港場なり。其の昔盛大の市場なりしが、香港の開けしより商況大に衰へたり。



滿洲 MANCHURIA 蒙古高原の東に位する東部平原の一部にして、之れを盛京吉林黑龍江の三省に分つを以て、一に東三省と稱す。盛京省は滿洲南部に位し、黑龍江省は其の北西部を占め、吉林省は其の中間にあり、西部には興安嶺連り、東部一帯には長白山脈走り、其の餘脈は南進して山東半島と相對する遼東半島を起し、遼東島を擁す。興安長白兩山脈の間は、いはゆる滿洲の平野にして、松花江烏蘇里河及び遼

ハルビンには帝國人約五百あり

河の流域なり。遼東半島は一たび我が版圖に入りし所にし、て其の南端に旅順口及び大連灣あり。現今は共に露國の租借地となれり。露國の經營に屬する東清鐵道は、旅順大連より起り、奉天哈爾濱齊齊哈爾を経て、シベリアのネルチンクスに達し、更にハルビンより一支線を寧古塔を経てウラジポストクに出す。又山海關より遼東灣に沿ひ、錦州を経て牛莊に達する北清鐵道あり。

奉天は一に盛京と云ひ、清朝の舊都なり。附近牧場多きを以て毛皮の賣買盛んなり。盛京將軍此に駐在す。牛莊は遼河下流の左岸に位する開港場にて帝國領事館郵便局あり、居留民約百人あり。日本郵船會社は神戸との間に毎月二回乃至四回の定期航路を開けり。近時遼河の填塞により、大船は僅かに其の門口なる營口に達するのみ。營口は遼河流域に



産する大豆・豆餅・豆油の輸出頗る盛んなり。吉林は松花江の上流に沿ひ、毛皮・煙草の集散地にして、吉林將軍ここに駐在す。齊々哈爾は嫩江に臨み、黒龍江將軍の駐在地なり、嫩江の沿岸地には牧畜盛なり。其の北東にある愛琿は黒龍江の右岸に沿ひ、シベリアのブラゴベシチンスクと相對し、貿易盛んなり。  
BLAGOVESHCHENSK

蒙古 蒙古高原の東部にして、其の中央に東西凡そ五百里南北二百五十里内外の廣さあるゴビの大砂漠あり。漠北を外蒙古と云ひ、漠南を内蒙古と云ふ。氣候全く大陸的にして、晝夜温度の差五十度に及ぶ。地味農産に適せず、人民多く牧畜を事とす。

内蒙古は處々に砂漠ありて、黄河の上流其の間を流れ外蒙古はアルタイの餘脈連りて、セレンガ河・ケルレン河其の間  
SELENGA KERULEN

を流る。又處々に湖水多し。賣買城は露境に近く、其の南方の庫倫と共に露清間の貿易市場たり。  
URUGA MAIMACHEN

新疆 蒙古高原の西部にして、天山々脈其の中央を横斷し、北を天山北路と云ひ、南を天山南路と云ふ。氣候は共に大陸性にして寒暑の差甚だし。天山北路は北部に砂漠あれども、南西伊犁川の流域は、地味肥沃にして牧畜行はれ農産に富み、天山南路もタリム河の沿岸地は、地味肥沃にして、人口多し。カシガルは、新疆中の大都會なり。  
TARIM KASHGAR

青海 西藏と甘肅省との間にある地方にして、青海其の東部にあり。牧畜の業盛んにして犛牛を産す。  
KOKONOR

西藏 西藏高原は、氣候寒暑の差甚だしく、北西の部分は全く草原をなし、南方アラマプトラ河の流域地のみは稍大麥・小麥等を産す。ラサは西藏の首府にして、喇嘛教主此の  
LASSA



地にありて實際の政治を掌る。羊毛・皮革等を産し、インドに輸出す。

産業 支那は土地廣く、氣候一ならざれば、物産豊かに産業の種類亦多し。農産の主なるものは、北部の諸省には大麥・小麥・大豆・高粱等とし、中部及び南部の諸省には棉花・米・茶・甘蔗・阿片・蠶絲等を産す。畜産の主なるものは馬・水牛・駱駝・羊・豚等にして、馬・羊は蒙古に多く養はれ、水牛は南部地方に多くして耕作の用に給せらる。駱駝は砂漠の舟として砂漠地方の運搬の用に供す。豚は支那人の常食とする所なるを以て到る所盛んに之れを飼ふ。林産の主なるものは、北部の山地には松・杉多く、南部の山地には樟・蠟樹・漆樹・朱檀・黑檀等を産す。されど此の國の山嶽は秃山多し。支那は世界の鑛産國を以て目せらる。されど鑛業は未だ盛んならず。石炭・鐵

は十八省中到る所としてあらざるなし。雲南省には銀・銅・錫等多し。水産は東海岸及び内地の河湖に産すれども、本國の需用を充たすに足らずして、諸外國より輸入す。殊に我が國より年々輸入する魚介・海藻類五百萬圓以上に及ぶ。工業の主なるものは、絹織物・綿織物・陶磁器・紙・金屬品・彫刻物等なり。然るに近來漸く新式の機械を輸入し、上海・漢口附近に綿絲紡績場及び製絲場の設立を見るに至れり。

商業 内國商業の最も盛んなるは、運輸の便最も大なる揚子江沿岸にして、漢口は實に其の中心市場たり。又各省間の商業は行商の手によりて行はる。黄河以北は人民多く農業を主とし、商業を營むもの少なし。外國貿易は年々盛大に趣く。其の取引の最も盛んなるは、上海・漢口・天津・廣東・九龍・牛莊・汕頭の諸港にして、對手國は帝國・イギリス・香港・インド・ロ



シアを主とす。輸出品は絹織物・茶・紡績絲・藁織・編物・獸皮等に  
して、輸入品は綿織物・阿片・石油・米等なり。我が國へは繰綿・油  
糟・砂糖・豆・鶏卵・大麻・棉子等を輸出し、我が國より紡績絲・石炭  
燐寸等を輸入す。

交通 道路甚だ悪しく、鐵道は北清鐵道・東清鐵道・京漢鐵道  
の外、山東鐵道・滬滬鐵道等あれども、何れも短距離に過ぎず。  
されば運輸交通は、南船北馬と稱し、南部地方は専ら水運の  
便により、北部地方にては、多く牛馬・駱駝の力による。電信  
は國內の重要な都會及び開港場の間に布設せられ、更に  
帝國・シベリア・朝鮮・歐米諸國に連絡す。郵便事務も益々進歩し、  
帝國の郵便局は北京・天津・牛莊・芝罘・上海・廈門・漢口・福州等に  
あり。我が日本郵船會社及び大阪商船會社は、此の國河海  
沿岸諸港の間に定期航海を開き、日本郵船會社は横濱・上海

線・神戸・北清線を有し、大阪商船會社は上海・漢口・漢口・宜昌二  
線及び香港・福州線等を有す。

住民 アジア系統に屬し、漢族の外にツングイズ族・トルコ  
族・西藏族・蒙古族を含む。漢族は支那本部に、ツングイズは滿  
洲に、蒙古族は蒙古及青海に、トルコ族は新疆に、西藏族は西  
藏に住居す、又四川・雲南・貴州の山中には、苗族住居す。其の中  
漢族最大多數を占む。人口の最も密なるは、山東・江蘇・福建・湖  
北の四省にして、最も少なきは蒙古・新疆なり。在留外國人の  
總數は、殆んど一萬七千人ありて、其の過半は上海に住す。英  
國人其の三分の一に居り、本邦人・ロシア人等之れに次ぐ。  
言語は其の種類多けれども、大別すれば漢語・ツングイズ・  
蒙古語に分る。漢語も到る所方言の數多く、たゞ官話のみ普  
く全國の上流社會に通ず。官話に北京・南京の別あり。



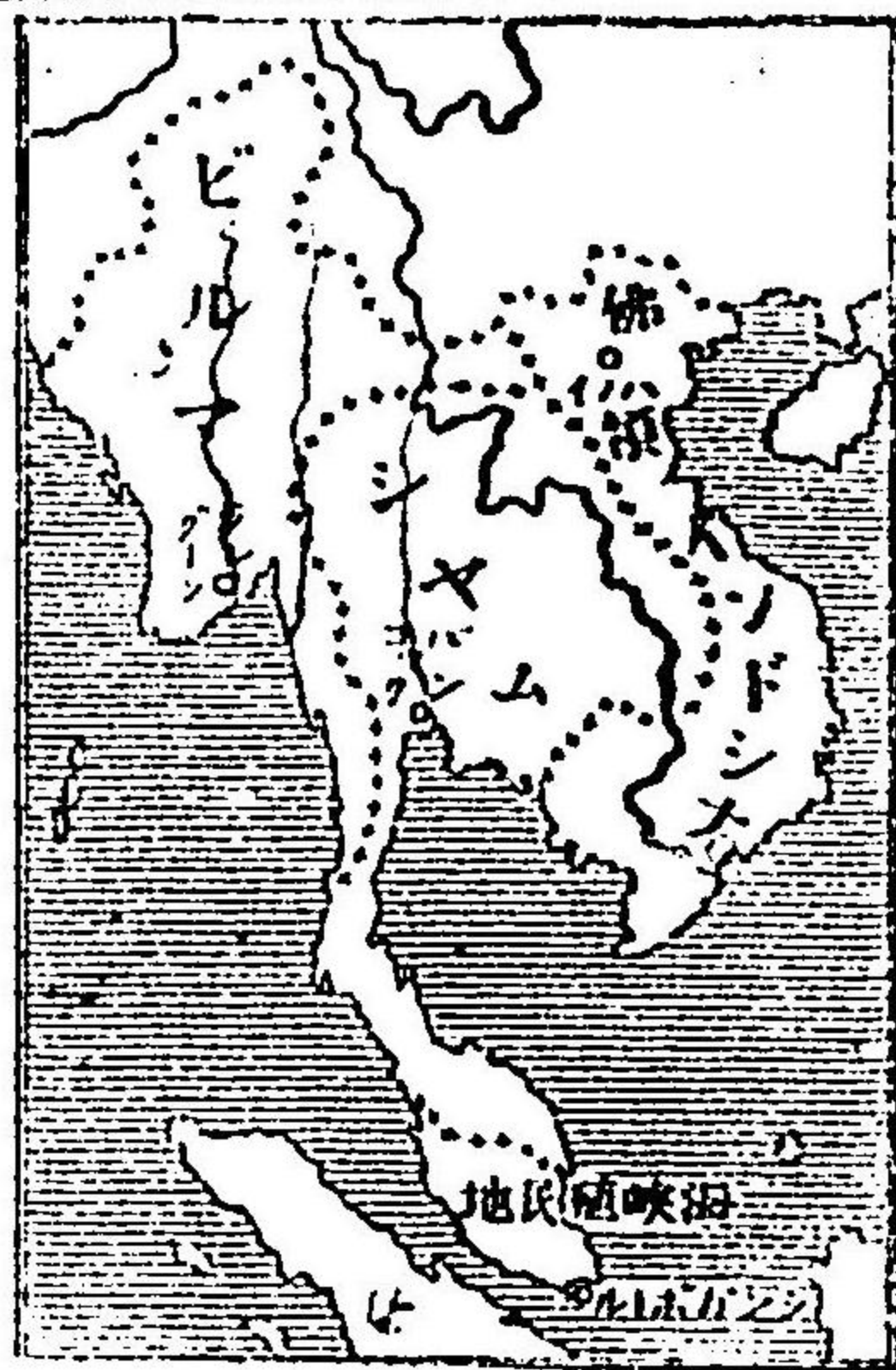




一部に行はる。

### インドシナ INDO-CHINA

アジアの南東に位する大半島にして、北は支那に界し、西はインドに隣り、南はマラカ海峽を隔て、マライ群島に對す。地勢 横斷山脈は數多の支脈に分かれ、北より南に並走して細長きマライ半島に及び、ソンコイメコンメナムの諸川其の間を南東に流れて支那海に注ぎ、サルウン、イラワチの二川は、其の間を南流してマルタバン灣に入る。サルウン河の外は、河口に何れも大なる三角洲を有し、地味肥沃なり。イラワチ河最も舟運の便に富む。氣候は炎熱にして雨量多く、大部は健康に適せず。年内乾濕の二期に分れ、雨期には中央山地の外雨量殊に多し。



海岸 出入著しく東海岸には東京及びシアムの灣入あり。西海岸にはマルタバン灣あり。諸灣の沿岸は、諸川より流されたる泥砂により埋りて水浅く砂洲多けれども、其の他は山脈海岸に逼りて險崖多し。マライ半島の沿岸には島嶼多く、アンダマン・ニコバル二群島は、其の西方の海中にあり。

邦制 インドシナはシアム海峽殖民

地ビルマ・フランス領インドシナに分

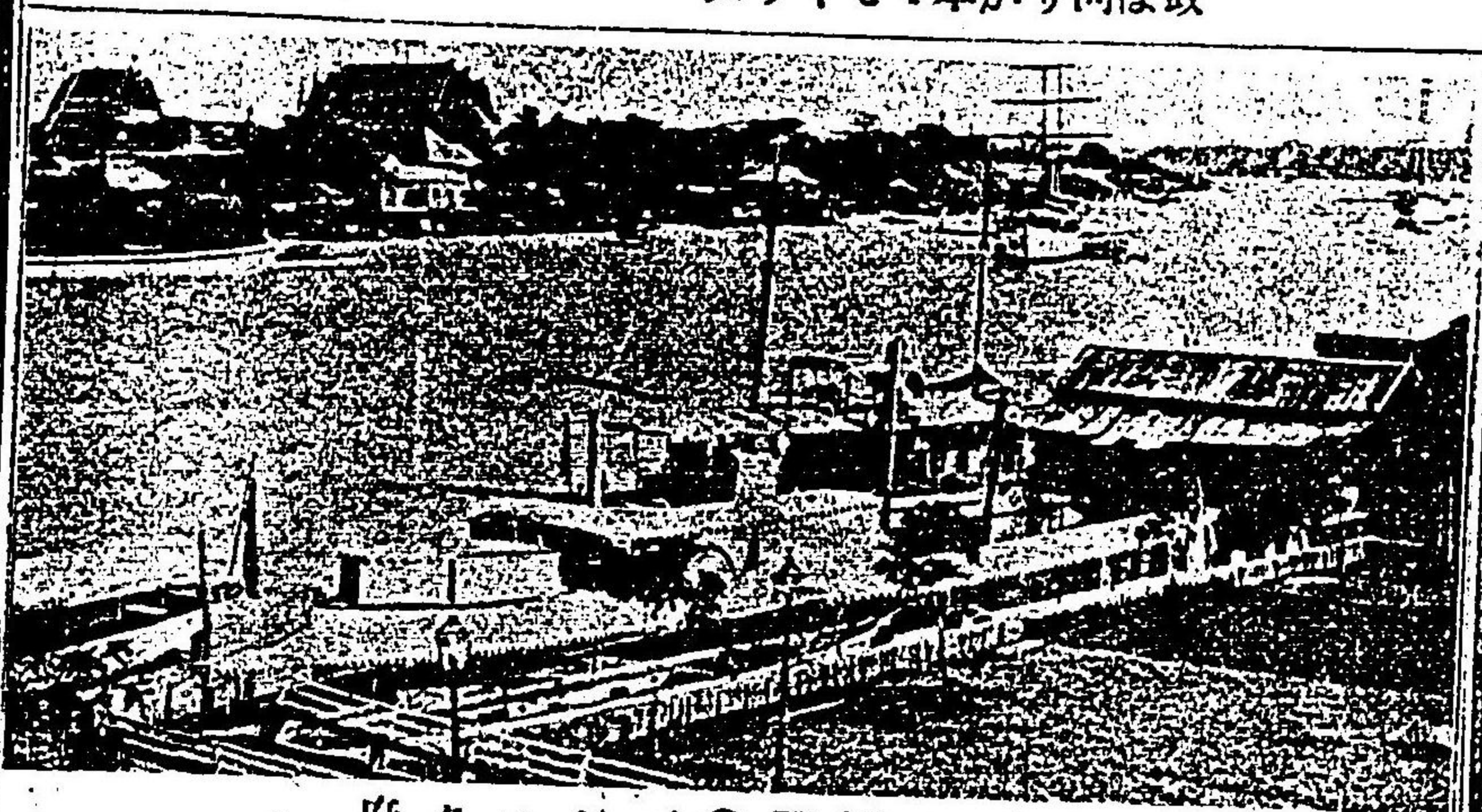
る。シアムのみ獨立國なれども、他は不

ギリス・フランスの領地なり。

シアム インドシナの中央に位し、シアム灣に面す。北部は山地にして熱帯の密林あり、チーク材に富む。南部メナム・メコンの沿岸地は、沃野開けて米の産夥し。



山田長政の遺蹟は、  
メナム河にあり、  
當時に我が本  
商をこゝに  
町を築き、  
に作りて、  
なかり、  
優なり、  
しと云ふ



メナム河の畔のコンク府

首府バンコクはメナム河に跨り、  
府民沿岸の水上に住居するもの  
多し。此の國の中心市場にして人  
口六十萬あり。帝國公使館及び領  
事館ありて在留民七十餘人あり。  
産業貿易 當國の主要物産は、米、  
チーク材にして、米は全輸出額の  
五分の四を占む。チークの伐り出  
しは、殆ど全く英人の手によりて  
行はる。現今我が國に棉花、米、木材  
を輸出す。交通は不便にして、首府  
附近に短距離の鐵道あるのみ。  
住民 多數はシアン族にして、支

那人の移住者百萬に達し、年々移住し來るもの、なほ萬以上  
に及び、商業上の勢力甚だ強し。政體は君主專制にして、王  
は内閣の大臣(概ね王族)と共に國政を司る。教育は多く英國人  
を聘用して、バンコクに各種の學校を設立す。宗教は佛教  
盛んにして、首府に於ける寺院の建築見るべきものあり。  
フランス領インドシナ インドシナの東部に位して、ト  
ンキン・アンナム・コシン・シヌ・カンボヂの四部に分る。トン  
キン・コシン・シヌは、佛國の領土にして、アンナム・カンボヂ  
は、其の保護國なり。山嶽中央に連なれども、ソンコイ・メコン  
の流域は、沃野連りて米の産夥しく、又運輸の便大なり。  
トンキンの首府ハノイは、ソンコイ河に沿ひ、其の輸出入港  
なり。鐵道はトンキン灣に臨めるハイフオンよりハノイに達  
し、更に支那の國境附近に通じ、陸上貿易に便す。アンナム



の首府 **ユエ** は、**チウロン** 港と共に、**トンキン** 灣に臨み、砂糖、肉桂を輸出す。**ユエ** は、**チウロン** 港と共に、**トンキン** 灣に臨み、砂糖、肉桂を輸出す。 **ユエ** は、**チウロン** 港と共に、**トンキン** 灣に臨み、砂糖、肉桂を輸出す。 **ユエ** は、**チウロン** 港と共に、**トンキン** 灣に臨み、砂糖、肉桂を輸出す。

三角洲上に位し、**ハノイ** と共にいはゆる **南京米** の輸出盛んなり。 **ハノイ** に **佛領インドシナ** 總督の駐在す。



海峽殖民地 **マライ** 半島の南部に位し、**ペナン**、**マラカシ**、**シンガポール** 等の地方より成る。英國の殖民地なり。

**シンガポール** は、同名島の南岸に位して、**マラカ海峽** に面す。港内水深く、**ヨーロッパ** と **東アジア** 及び **オーストラリア** との交通の要路にあたるを以て、通過貿易盛んに行はれ、当地の主要輸出品錫の外、砂糖、煙草、**サゴ**、**米**、**籐**、**香料**、**咖啡** 等の東洋の産物及び西洋の製造品此の港に集り、更に世界の各地に配分せらる。人口二十萬にして、其の過半は支那人なり。外に **マライ** 人、**インド**

チは土人ク伐材  
て於て山人  
河倒さして  
か象を伐  
よはしめ  
引てめり  
夫にす



人、**歐米** 人等世界の各種概ね來り集まる。本邦人の在留するもの亦七百人に近く、帝國領事館あり。日本郵船會社の歐洲線は毎月二回ここに寄港す。

**ビルマ** **インドシナ** の西部に位し、行政上 **インド** に附屬し、**イラワヂ** 河其の中央を貫流す。其の上流地方は山嶽に富みて、**チーク** 材を出し、下流の地方は平野開け、**米** の産夥し。首府 **ラングーン** は、其の三角洲上にあり。米、**チーク** 材等を輸出す。鐵道は **ラ** **ン** **グ** **ー** **ン** より獨立時代の舊都 **マンダレ** を經て北方支那との貿易市場 **バモ** に達す。



### ロシア領アジア ASIATIC RUSSIA

ロシア領アジアは、アジア洲の三分一を占め、其の大部はシベリア平原なり。今大別してシベリア中央アジア、カフカズCAUCASUSの三地方とす。

**シベリア** アジア北部の大平原にして、南東は日本海を隔て、我が國に對し、南は支那帝國及び朝鮮と境を接し、西方は本國に隣す。

**地勢** 地勢は二大部に分れ、南東部は山嶽臺地多く、それより土地漸く北西に傾きて大平原をなし、ウラル山麓に達す。レナ、オブ、イニ、セイ、黒龍江の大河は、アジアの中央高原より發し、此の地方を貫流す。四川共に流れ緩にして、水量多けれども、下流は半歳以上氷結す。水利は黒龍江最も大なり。

氣候は大陸的にして寒氣殊に強く、北部は夏時二三月の間のみ、地面漸く氷解して沼澤となる。中部は大森林多く、南部に至れば沃野開け農耕に適す。

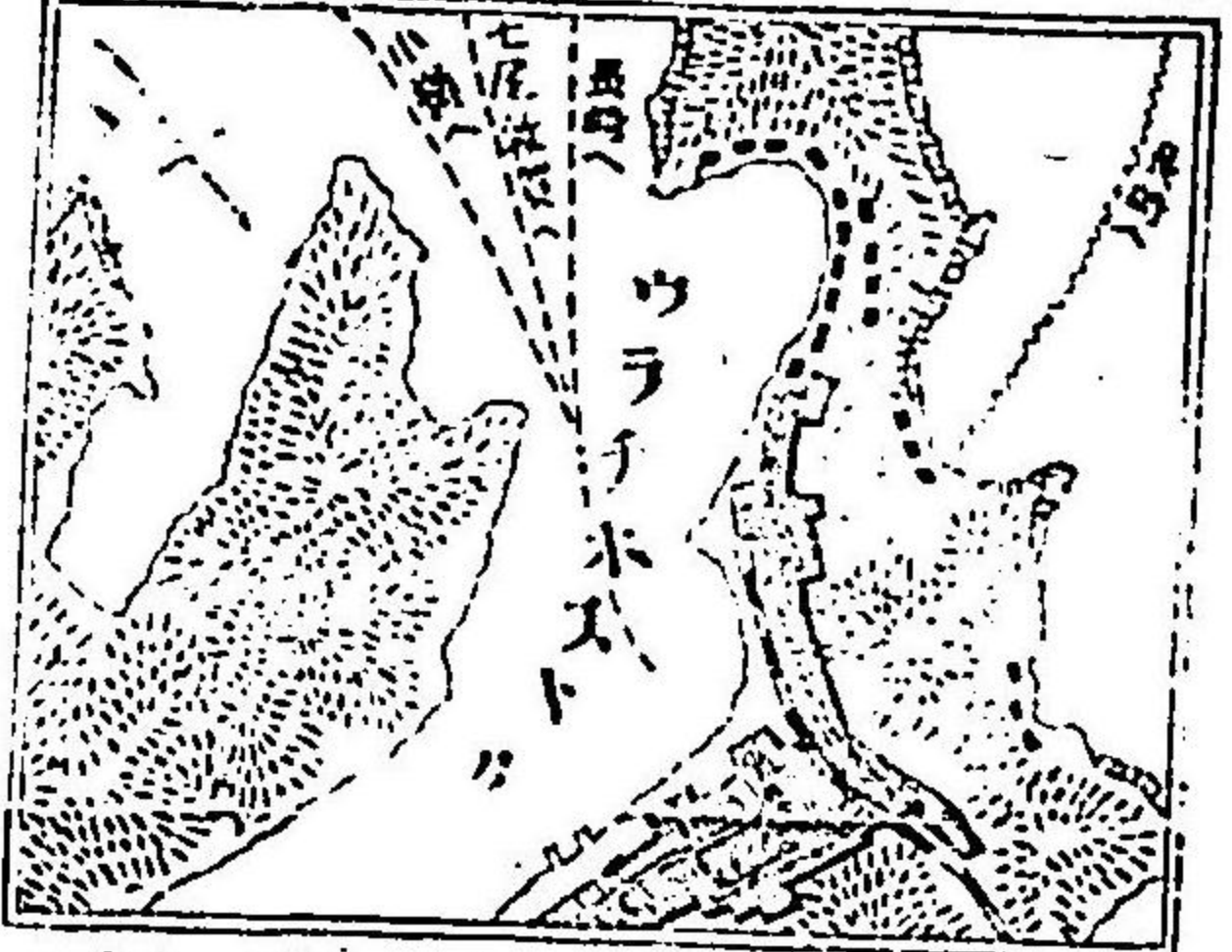
**海岸** 北極洋面は年中殆んど氷結し、又夏時氷解の際は、氷山浮流し航海に適せず。我が國の對岸なるオホーツク海岸OKHOTSK、日本海岸は平地少なく、サハレンSAHALIN（樺太）島其の間にあり。オホーツク海の海岸は寒氣殊に烈しく、日本海岸のウラヂボストクは良港なれども冬季は氷結す。

**沿海地方** KAMCHATKA カムチャツカ半島及びオホーツク海、日本海沿岸の地方にして、山地は、松、樺等の森林に富み、又金、銀、鐵、銅等の鑛産豊かなり。カムチャツカ半島には、火山多くして、其の脈我が千島に及ぶ。黒龍江の沿岸地は、水運の便よろしく、耕作、牧





クトスボチラウ  
のしるせ寫を街市の部四  
りあ港軍に方東の其てに



畜を業とするもの多し。又沿海は世界三大  
 漁場の一と稱せられ、鯨、海豹、鰵、鮭、鱈、昆  
 布等の漁利甚た多し。ブラゴベシチンス  
 クは、黒龍江のゼーヤ河と會する所に位す。  
 ゼーヤ川のDZEVIA上流に有名なる金鑛あるを以  
 て市況之れが爲めに繁盛なり。ニコライブ  
 クスは黒龍江の河口に臨める都  
 會なり。サハレン島は韃靼海峡  
 を隔て、沿海地方に對し、鱈、鮭の  
 産夥しく、我が國人の來り漁する  
 もの多く、KORSKOVコルサコフ港に帝國領  
 事館あり。  
 ウラヂボストクは、沿海地方の南  
 VLADIVOSTOK



端ペテロ大帝灣内にあり。三方山を圍らし、灣内水  
 深くして風浪の憂なく、シベリア唯一の要港とす。  
 十月より翌年五月までは灣内氷結すれども近來  
 碎氷船によりて航通をなせり。港の東部は軍港に  
 して、鎮守府海軍團參謀局、船渠、倉庫等あり。西部は  
 市街にしてシベリア鐵道此れより起り、現今十六  
 日にして露京に達すべし。我が國よりは石炭、蔬菜、  
 米、果實、玻璃器、茶等を輸入し、我が國へは石油、鹹魚  
 等を輸出す。帝國の貿易事務官ありて、在留民二千  
 八百餘人に及ぶ。日本郵船會社、大阪商船會社等の  
 航路あり。近時又大家氏日本海航路を開き、四十餘  
 時にして敦賀、七尾より直航すべし。  
 東部シベリア、イニセイ河以東の地方にして、南



東部は山嶽連れども、北西部は地勢平かにしてイニセイ河の兩河其の間を流る。其の下流域はいはゆる苔原ツンドラにして荒蕪地なれども、南部の高地は農作に適す。山地には松樺等の森林多し。バイカル湖附近の山中は金銀鉛石炭等の鑛産に富み、牧畜亦盛んなり。イルクツクはイニセイ河の支流アンガラ河に沿ひ、毛皮の取引盛んなり。東部シベリア總督ANGARAここに駐在す。クラスノヤルスクは、イニセイ河の上流に沿ひ、毛皮鑛物の取引盛んに行はれ、且つ附近物貨の集散地なり。南境のキヤクタキヤクタは支那の賣買城マイマツチヤンに近く、露清貿易の中心地にして、磚茶と毛皮とを交易す。

西部シベリア イニセイ河以西の地方にして、黒土層の大平野連り、穀類馬鈴薯等を産し、羊・馬・牛・豕等の牧養亦盛んなり。トムスクはオア河の上流に沿ひ、金・毛皮の大市場にし

て、シベリア鐵道と連絡す。

産業及び交通 シベリアは開拓普ねからざれども、天産物に富むを以て、將來頗る有望の地なり。南部の地方には、農業、牧畜行はれ、又良材鑛産に富む。水産物は太平洋の沿岸及びオア河・黒龍江・バイカル湖等に多し。黒龍江・バイカル湖・イニセイ河・オア河は水運の便大なれども、冬季は氷結す。シベリア鐵道は、ウラル山麓のチェリヤビンスクより、オムスク・クラスノヤルスク・イルクツクを經、バイカル湖の南岸に沿ひてチタに達す。それより更に黒龍江に沿ひ、ブラゴベシチェンスク・ハヴロフカを通りて、ウラチポストクに至るべき計畫なれど、未だ開通せず。既設線四千八百餘哩あり。東清鐵道はウラチポストク及び清國大連灣より、滿洲を經て本線に接續するを以て、近來此の鐵道を歐亞兩大洲の交通路とな









場とす。その南西のサマルカンドは帖木兒の都せし所にし  
て其の墳墓あり。ヒバ國・ボハラ國はアム河に灌漑せられ、  
農産鑛産に富み、牧畜亦盛んなり。

交通 鐵道はカスピ海東岸の良港クラスノボドスクより、  
ペルシアの北境に沿ひ、タシケントに達す。又西岸バクとの  
間に定期航海あり。夏時にはシル河・アム河又た交通の  
要路となる。アラル海舟運の便亦大なり。

住民 人種は大抵トルコ族にして、人口の最も密なる  
はトルキスタンなり。回教を信じ遊牧を事とすれども、  
近來農業に従ふもの亦漸く多し。

カフカズ 黒海とカスピ海との間にある地方にし  
て、カフカズ山脈は南東より北西に走り、國內を南北に  
兩分す。南部クルル河の流域は、地味肥沃にて田野開け

バクの製油所及び  
其の噴油井

一年の産額九百八十四  
萬餘噸に達し之を揮發  
油・機械油・燃料等に製出  
す。我が國への輸出額は、  
年々二百萬圓内外に達  
す。



牧畜盛んにして鑛産に富み、  
氣候も亦溫和なれども、北部  
は草原にして地味瘠せ、氣候  
大陸的にして、寒さ殊に強し。  
鐵道は本國のモスクバより  
南下し、カスピ海の西岸に沿  
ひてバクに達し、更に支線を  
黒海沿岸のポチ・バツームの  
二港に出す。

首府チフリスは、クルル河に  
臨み、人口十六萬ロシア領ア  
ジア第一の都會なり。バク  
は世界二大石油産地の一に



して、此の地よりポチに達する鐵道機關車は、石油を燃料とす。又油槽車によりて石油をバツイムに送り、此の所より本國及び諸外國に輸出す。

住民 人種は總稱してカフカズ族と稱すれども、多くの種族混合し、言語・風俗の雜多なること、世界に其の比を見ず。

インド及びベルチスタン INDIA AND BALUCHISTAN

インドはヒマラヤ山脈の南にあたり、インド洋に突出する一大半島にして、セイロン島之に屬す。此の地は古の天竺にして、釋迦牟尼の誕生地として、久しく我が邦に知られたり。現今は英國に屬す。

地勢 北境のヒマラヤ山脈は、其の高さ大抵海面上二萬三千尺に達し、其の最高峰エベレスト山は、中央より稍東に偏

して崛起し、海面上二萬九千尺にして、地球上の最高地點とす。インド平原は、其の南に横はりて、インド河口よりガンガ河口に連る。インドの寶庫と稱せらるゝガンガ河は、ヒマラヤ山脈より發し、ブラマプトラ河を併せ、平原の東部を灌溉し、河口に世界第一の三角洲を爲す。其の沿岸の平野は地味肥沃、水運の便大にして、首府カルカッタを始め、人口十萬以上の都會十二あり。インド河もまたヒマラヤ山より發し、平原の西部を貫流す。其の沿岸地は地味肥沃ならず、河口に近き所に、小麥の取引を以て名高きカラチ港あり。デカン高原は、平原地の南にあり、三角形をなす。此の高原の大地積は耕作に適せる肥沃の黒土を以て蔽はれ、又水利に富めり。

アラビア海沿岸の北方は、低平にして、インド河の河口にあ



たり、其の南東にカチワール半島突出す。カチワール半島以南の西海岸は、デカン高原の山脈海岸に逼り、其の間に**ボムベ**港あり。ベンガル灣の沿岸は、出入少なければども平野相連り、其の南部に**マドラス**あり。南端は沙洲連続してセイロン島と相接す。地域熱帯に位するを以て、氣候炎熱に、且つ多雨なるを以て有名なり。たゞヒマラヤ山脈及びデカン高原の山地は氣候清涼なり。

**都會** 首府**カルカッタ**は、ガンガ河の三角洲に位し、國內第二の開港場にして、水陸交通の便最もよろしく、人口百十二萬あり、**阿片**・**米**・**製油**種・**藍**・**綿**を輸出す。附近に綿麻の製造場多し。ガンガ上流の**デリ**は、棉花の大市場にして、其の下流の**パトナ**は、**阿片**米の大市場なり。中流の**ベナレス**・**アラハバド**は、共に内國商業の中心にあたる。**ラホール**はインド河

の上流にありて市況盛んなり。

**ボムベ**は、アラビア海岸のボムベ島上に位し、港内水深く、國內第一の開港場にして、人口七十七萬あり。**棉花**・**阿片**・**米**・**藍**の輸出盛んなり。殊にスエズ運河の開通以來、益々繁盛に趣き、歐亞兩大陸の間を航海する汽船は、必ずこゝに寄港するを常とす。我が日本郵船會社も横濱より定期航海をなす。

**マドラス**は、デカン半島の南東に位し、ベンガル灣に臨み、國內第三の開港場にして、人口五十一萬あり。**棉花**・**米**・**藍**等を輸出す。セイロン島の西岸にある**コロンボ**には石炭貯蓄所あり、歐亞交通の要路にあたる。

**産業** 農業國にして住民の九割は之に従事し、ガンガ沿岸の平野には、**米**・**小麥**・**茶**・**藍**・**阿**



我が國への最近輸出額は、従前にて約三千八百萬圓の巨額に達し、總の輸入國中第一位にあり。



印度茶は  
既場にて  
支那茶を  
壓倒し今  
や合衆國  
に於て大  
本となれ  
り敵とな

片等を産し、デカン半島には棉、珈琲等を産し、セイロンにては茶、珈琲を産す。山地にはチーク材、榕樹等の熱帯性森林多く、又象、水牛、獅子、虎、熊、狼、豹、猿、犀、鱷、魚、蛇等の動物多し。運搬耕作は専ら牛、象を用ふ。牧畜はインド河の流域にのみ行はる。鑛産中石炭はデカン半島の北東部に産し、鐵及び銅は處々の山地より出て、鹽はインド河の流域及び沿海地方より産す。硝石の産額は世界第一と稱せらる。又紡績、絲、麻、羊毛、紙、ビール等の製造工業は、ボムベ、カルカッタ、マドラス等に行はれ、肩掛は専らカシミル地方に産す。  
商業 外國貿易は主に海運による。輸出品の主位にあるものは、綿にして茶も亦重要輸出品の一なり。其の他政府の專賣品阿片、藍、煙草之れに次ぐ。輸入品の主なるものは、綿製品、金屬品、砂糖、油、絹織物、機械類、毛布、食料品等なり。輸出入共に

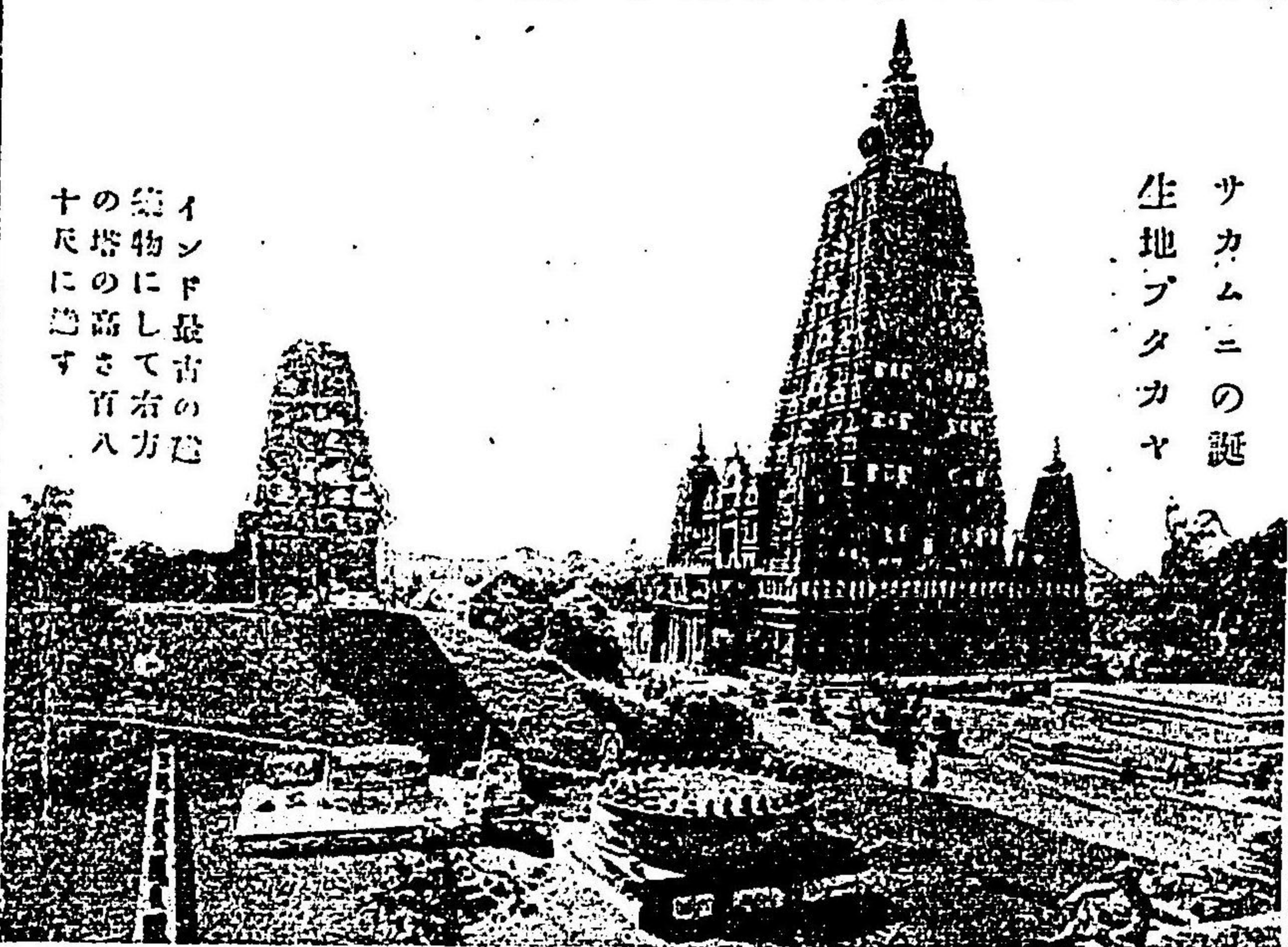
英國第一位に居る。我が國に輸出するものは、練綿を第一とし、其の他乾藍、米、熟皮等にして、輸入品は羽二重、石炭、燐寸、樟腦、絹手巾等とす。

交通 鐵道は最もガンガ河の沿岸地方に發達し、又デカン高原を横斷し、東海岸より西海岸に通ず。カルカッタ、ボムベ、マドラスは沿海の鐵道中心地にして、又歐亞及び濠洲交通の要港たり。道路又よろしく、ガンガ河は鐵道と共に内地運輸の利大に、上流附近には運河あり。

住民 住民は概ねヨーロッパ系統中のアーリアに屬し、他にドラビダ族あり。人口の最も密なるはガンガ下流の平野なり。政治は印度總督、本國印度大臣の指揮をうけて之れを行ふ。地方は直轄部、藩屬部に分れ、藩屬部には王あれども、總督派遣の駐在官によりて監督せらる。教育は五



サカムニの誕生地ブタカヤ



インド最古の建築物にして右方の塔の高さ百八十尺に達す

大學の外、多くの専門學校あり。又小學校の設あり。宗教は主に婆羅門教を信じ、人民の多數は肉食せず。セイロン島には佛教盛んなり。

インドには以上の外、英領に介在して、ヒマラヤ山中に子パールブーイタンの二獨立國あり。又東岸及び西岸に、FRANCE PORTUGAL フランス・ポルトガルの僅少なる屬地あり。

英國の保護國たるベルチスタンは、インドの西にあたり、スレイマン、HELE ハリの兩山脈國內に連り、砂

漠性の高原を爲す。地味概ね宜しからず、豹・狼・虎・獅子等の野獸多し。首府をケラトKELATと稱し、インドよりベルチシアに通ずる要路に位す。住民の多數は遊牧を業とし回教を信ず。

### アフガニスタン AFGHANISTAN

アフガニスタンは、ベルチスタンの北に位し、ヒンヅークシ山脈東より來りて國內に連り、カブール河KABUL・ハルマンド河HALMAND其の間を流る。氣候は大陸的にして雨少なければども、北部諸川の沿岸は地味肥え、穀物・果實を産す。牧畜亦盛んに行はる。

首府カブールKABULは、カブール河の上流に臨み、インドに通ずる要路にあたる。ヘラトHERAT・カンドハルKANDAHARはインド・ベルチシア・ロシア領中央アジアとの間に取引行はれ、市況盛んなり。カンダ



ハルの絹絨氈は精巧を以て名あり。  
住民 概ねイラニア族にして、何れも回教を信ず。政體は君主專制にして、君主(アミール)國政を行へども、實權は英國の手にあり。

ペルシア PERSIA

ペルシアは、アフガニスタン・ベルチズタンの西にありて、カスピ海とヘルシア灣との間に位す。地勢は概ね高原にして山脈並走し、南東にはグレートソルト砂漠、ルト砂漠あり。カルン河の外は、或は砂漠に埋没し、或は鹽湖に入る。鹽湖の大なるものを北西のウルミア湖、南部のニリス湖とす。氣候は大陸的にして雨少なく、ヘルシア灣に面する低地は、炎熱殊に烈し。此の國の三分一は砂漠なれば、人民は概ね牧

畜を事とし、又小麥、阿片棉花等を産す。工業には絹布毛氈肩掛あり。水産はヘルシア灣に眞珠を産す。外國貿易はカスピ海とヘルシア灣とを通じて、インド・ロシアとの間に行はれ、阿片棉花羊毛生糸煙草毛氈眞珠等を輸出す。

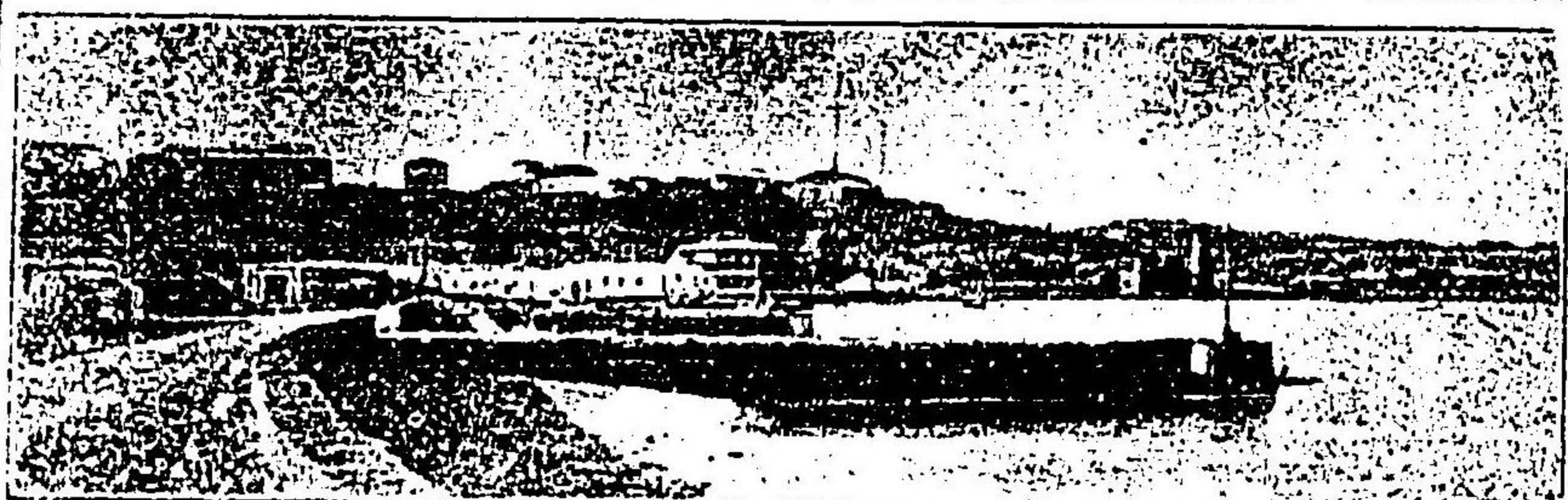
首府テヘランは、北部エルブールズ山の南麓にあり、隊商貿易の中心地にして、人口二十五萬あり。ヘルシアの舊都イスパハンは其の南にあり。

住民 住民は概ねアイリアに屬す。政體は君主專制にして、宗教は主として回教行はれ、國法・教育共にユーランの教理に基く。

アラビア ARABIA

ヘルシアの西方にある長方形の半島にして、世界最大の半





島なり。北方アジアトルコに接する外は三面海に瀕す。

地勢及び邦制 概ね高原にして、山脈海岸に沿ひて四周し、中央は大砂漠にして河湖なし。氣候は大抵炎熱にして雨少なし。西方の紅海沿岸は、ヘジズ、イメ  
HEJAZ YEMEN  
 ンの二部に分れ、共にトルコに屬す。ヘジズのメカは  
MEKKA  
 ムハメットの生地、メジナは其の死せし所なれば、回教  
MAHOMET MEJINA  
 諸國よりの参拜者多し。イメンは半島中最も豊饒な  
 る地にして、盛に珈琲・果實・蔬菜等を栽培す。

南方アラビア海沿岸の西部にアデン灣あり、自然の  
ADEN  
 良港にして、其の附近は英國に屬す。アデンは歐亞交  
 通の要路にあたり、世界有名の石炭貯藏所なり。此の  
 地飲用水に乏しきを以て、雨水を貯ふる設備あり。

東部のヘルシア灣沿岸地方は、オマーン・ハサの二部に分れ、  
OMAN HASA  
 オマーン王國は名は獨立國なれども、實は英國保護の下に  
 あり。首府マスカトは通商稍盛んなり。ハサはトルコに屬す。  
MASKAT  
 内地中央の高原は牧畜盛んにして殊に馬及び駱駝は其  
 の名高し。

住民 概ねアラビア族にして、遊牧を業とするものと定住  
 するものとあり。大抵回教を信ず。

### アジアトルコ ASIATIC TURKEY

アジアの北西端にありて、ヨーロッパに接近し、歐亞文明の橋  
 と稱せらる。東はヘルシア、南はアラビアに接する外は皆海  
 に瀕す。

地勢 大部は高原地にして、東方のアルメニア高原は、西方



のアナトリア高原に連りて小アジア半島をなし、**レバノン** 山脈は地中海岸に沿ふて南走し、其の東に**シリア**の窪地あり。シリア南端の**死海**は、其の水面地中海面を降ること千三百尺、世界第一の窪地なり。シリアの中央に**ダマスカ**あり。以上の高原地の南東方は、**メソポタミア**の平原にして、チグリス河の右岸に**バグダード**あり。此の平原は地味宜しけれども、灌漑全からざれば農産少なし。河流は水量多くして、バグダードまで河蒸汽船を通ず。

小アジア半島の西海岸は出入に富み、歐洲との間にエーゲ海を挟み、沿海島嶼多く、其の中央部に**スミルナ**の良港あり。南方の沿岸は出入少く、海上には英領**キプロス**島あり。南東の**ヘルシア**灣は、チグリス・エウフラト河の流砂によりて海底淺し。氣候は概ね炎熱、**メソポタミア**・シリアの夏は殊に

熱く、**アルメニア**の冬は殊に寒し。唯沿海地方のみ温和なり。**都會** 小アジアの**スミルナ**は、自然の良港にして、人口二十萬餘、國內第一の都會なり。歐洲諸港より寄港する汽船と隊商との交易盛んにして、果實、**阿片**、**棉花**、**絹**、**毛布**、**絨氈**を輸出す。

シリアの**ダマスカ**は、第二の都會にして、隊商貿易の中心地なり。其の南方にある**エルサレム**は、往時**バレンスチナ**の首府にして、**古ユダヤ**國王の都せしところなり。耶蘇の墳墓は其の郭外にあり。

産業 小アジア地方の海岸及び諸川の流域には、**葡萄**、**阿片**、**棉**、**大麥**の栽培盛んにして、山地には**銅**、**鹽**等を産し、**牧畜**盛んにして、**アンゴラ**の羊毛及び**絨氈**の名著はる。シリア地方には**橙**、**煙草**を栽培し、又絹を産す。**メソポタミア**平原には**麥類**、**玉蜀黍**の産夥し。交通は多く、**駱駝**の背による。









マダラ麻收穫の圖

り。ユブラ。砂糖。大麻。煙草を輸出す。帝國領事館ありて、邦人の在留するもの千餘名あり。日本郵船會社の濠洲線はこゝに寄港す。又マニラより各島間に海底電線を通ず。

子ーデルランド領 群島の大部を包括し、ジバスマトラ。ボルネオ。セレベス等は其の最も大なるものなり。スマトラは最も西方にありて、珈琲。煙草。胡椒を輸出し、東方のプリットン。バンカ二島には錫を産す。ジババは其の南東にありて、スマトラと共に最も重要な島なり。島内高山多く、殊に火山の多きとは、世界第一と稱せらる。低地には米。甘蔗。煙草。棉を栽培し、高地には珈琲。茶。幾



那果實を産す。牧畜亦盛んにして、水牛。羊。馬等を産す。又支那人の嗜む所の燕窩は其の南岸より産す。首府バタビヤは殖民地の中心市場にして、人口十一萬五千あり。總督こゝに駐在す。輸出品の主なるものは、砂糖。珈琲。茶。米。幾那。煙草等なり。スラバヤは南洋の要港なり。島内交通機關よく發達し、鐵道。電線はバタビヤよりスラバヤに通ず。又諸種の製造場あり。ボルネオはジバの北方にあり。地勢は山多けれども一の火山なく、煙草。護膜。サゴ。甘蔗。燕窩等を産し、又金及び炭田に富む。又以上の三島は石油に富み、ジバの採掘殊に盛んなり。セレベスはボルネオの東方にあり。群島中氣候最も良し。南岸にマカッサル港あり。セレベスの東方にあるモルッカ群島は、一に香料群島と稱し、多く香料。丁香及び肉荳蔻を産するを以て名あり。



イギリス領 ボルネオの北西部一帯の地にして、北ボルネオ州は、北ボルネオ會社の所有に屬し、金、護膜を産し、又藤、樟腦、燕窩等を出す。北西のサラワクSARAWAK、ブルネイBRUNEIは共に英國の保護をうけ、サラワクのサゴ米は世界産額の二分一を出す。西岸のラブアン島LABUANは、本國の直轄地にして、ビクトリア港VICTORIAあり、香港、シンガポールとの間に海底電線を通ず。

住民 此れ等群島の土人は、マライの諸種族に屬すれども、近時本國及び支那の移住民多し。

### 括論

本洲は地積廣大にして、寒・温・熱三帯を有し、且つ大高原、大平野多きを以て、天産の種類最も豊富なり。従ひて産業の種類亦甚だ多し。本洲の東部平原及び南部平原は、世界中地味最

も肥沃の地方にして、其の農産の主なるものを米、茶、珈琲、棉、蠶絲、藍、甘蔗、阿片、煙草、大麻、黃麻等とす。米は最大重要な産物にして、帝國、朝鮮、支那、インドシナ、インド及びマライ群島の住民の主食物とす。茶は帝國、支那、インドに産し、亦主要なる飲用物なり。珈琲と共にジャバ、セイロン二島にも産す。棉はインド、支那及びインドシナに、蠶絲は帝國、支那及びインドに多く産し、最も大切なる衣服の原料とす。其の他藍はインドに、甘蔗はマライ群島に、阿片はインド及び支那に、煙草は帝國、インド及びフリビン群島に、麻はフリビン群島及びインドに、黃麻はインドに最も多く産出す。西部のアジアトルコ及びベルシア二國の海岸地方には、ペルシア、棗、橙、葡萄、橄欖等の果實を産し、其の高原には麥類の産夥し。マライ群島及びマライ半島には熱帶性植物の椰子、サゴ、麵包果等に







カフカズ及び中央アジア地方に數條の鐵道通じて、黒海・カスピ海の間を連絡す。アジアトルコには、内地の都會より起りて、西海岸に達する二條の鐵道あり。水運は本洲の主なる交通路にして、歐・米・濠の三大陸との交通最も頻繁なり。されど我が國を除けば、其の航路は殆んどイギリス・ドイツ等諸國民の手によりて營まる。我國人の經營せるものは、**日本郵船會社**の上海線・ボンペー線・韓國北清線・ウラヂボストク線・濠洲線・大阪商船會社の釜山線・仁川線・鎮南浦線・上海漢口線・宜昌線・東洋汽船會社の揚子江線及び上海・杭州・蘇州線等を主なるものとす。郵便の制は帝國及びインド最もよく發達し、支那・朝鮮・シム・ジャバ・シベリア之れに次がり。而して本洲より歐洲に通ずる電線は、ウラヂボストクよりシベリアを経るものと、北京より中央アジアを経

るものと、インドよりベルシアを経るものとの三線あり。海底電線は沿海諸要港の間に通じ、近頃又北アメリカ合衆國よりハワイ・グアム等の太平洋諸島を中繼所として、太平洋を横斷し、其の領地・フィリピン群島に海底電線を通ぜり。



### オセアニア洲

### OCEANIA

#### 總論

オセアニア洲は、南太平洋中に散在する島の世界の總稱にして、我がアジヤ洲の南東に位す。今之れを大別してオーストラシア・ミクロ子シア・メラ子シア・ポリ子シアの四部とす。オーストラシアは全部赤道以南に位する唯一の大陸オーストラリアを主として、タスマニア及びニュージランド諸島を包括し、ミクロ子シアは我が小笠原の南に散在する島嶼の總稱にして、メラ子シアはミクロネシアの南オーストラシアとの間に位する島嶼の總稱なり。ポリ子シアはハワイの南よりニュージランドの間にある島嶼の總稱とす。

クロ子シア以下のオセアニア洲の諸群島は、熱帯にあれども、大洋の中心に位するを以て、海風之れを和らげ、氣候は炎熱ならず。雨多くして草木よく生育せり。全洲一の獨立國なく、全く歐米諸國に分屬す。

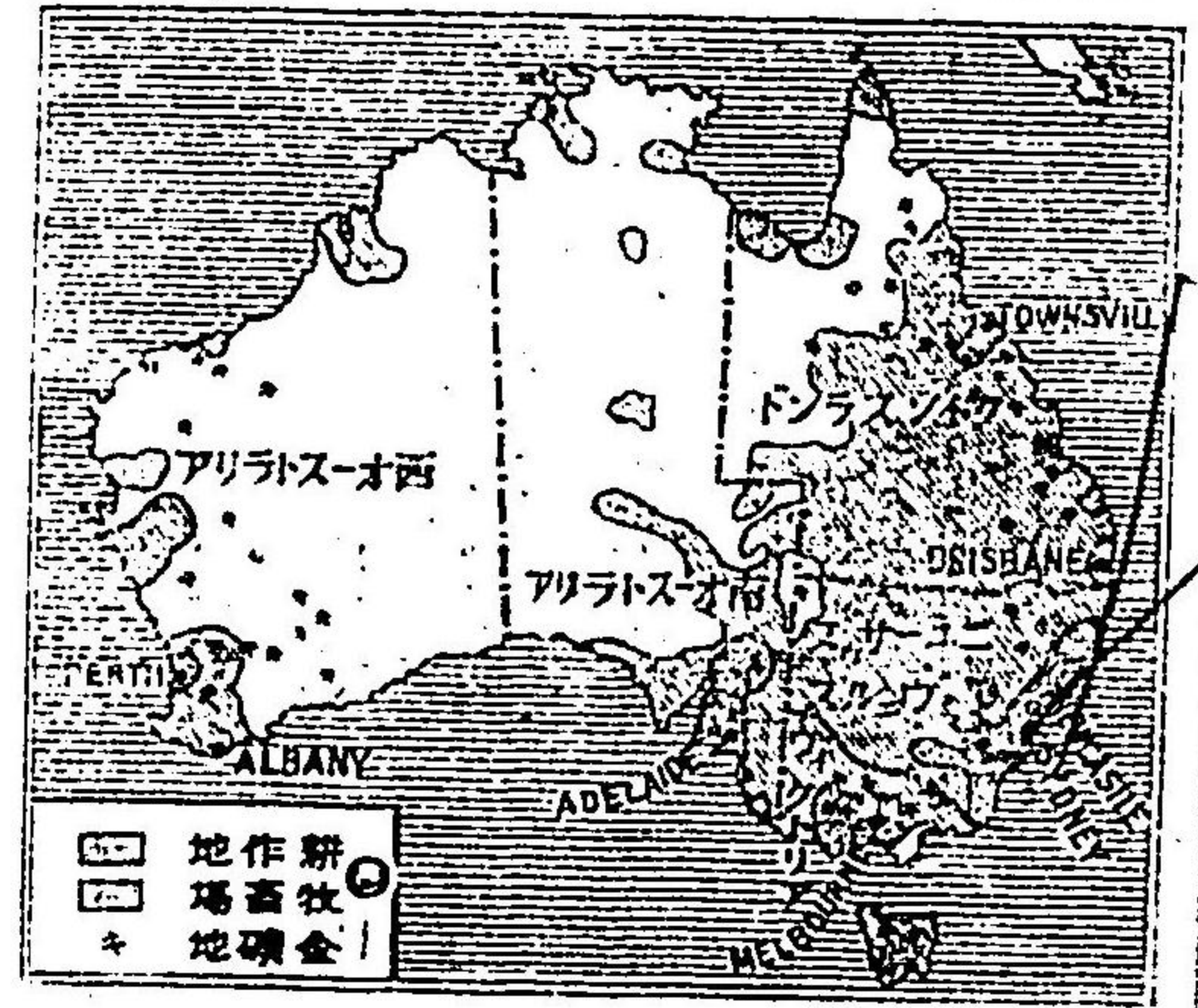
#### オーストラシア AUSTRASIA.

オーストラリア マライ群島の南東に位する南半球の一大陸地にして、邦制上ビクトリア・ニューサウスウールズ・イクスランド・南オーストラリア・西オーストラリアの五州に分る。

地勢 大分水嶺北東端のヨーク岬より東岸に沿ひて南走し、南東端のウルソン岬に達するを以て、東部は山地多し。殊に其の南部はオーストラリアアルプスと稱し、海面上七千



常風南方東の  
常風南方東の  
常風南方東の  
常風南方東の



の地方は、牧草よく生長し、最も羊の牧場に適す。牧畜地方の西方は、大陸の中央より西海岸に至るまで、大部は不毛の砂漠地とす。然るに二十年前より此の砂漠地に金鑛を發見し、現今西部の砂原中に十九金鑛區ありて、其の産額は本洲第一に居る。

四百尺に及ぶ。此の沿岸山脈あるにより、山脈以東の沿海地方は、雨多く水利に富み耕作に適すれども、以西の大部は氣候乾燥にして雨量に乏し。從ひて國中の大河と稱すべきは、沿岸山脈の西麓より發して、中央平原を流る、**マルレー**河あるのみ。此の河の流域及び其の北方一帯



場羊牧のスル... ヲセアニア洲

**氣候** 夏冬二期に分れ、其の季節恰も我が國と相反す。(冬は四月より九月、夏は十月より三月) 固有の生物は奇異なるもの多く、植物には落葉せずして落皮する**ユーカリ** **プタス**の種類及び**アカシア**あり。動物には**カンガルー**の各種屬を始めとし、哺乳動物にして産卵する**プラチパス** (鴨嘴)鳥にして翼なき**エミウ**及び**火食** 鶏等なりしが、歐洲人の移住せしより、耕地には小麦・玉蜀黍・甘蔗・葡萄等を栽培し、牧畜地には羊・牛・馬・殊に羊の飼養盛んとなれり。鑛物は金を主とし、銅・石炭・鐵・錫等を産す。

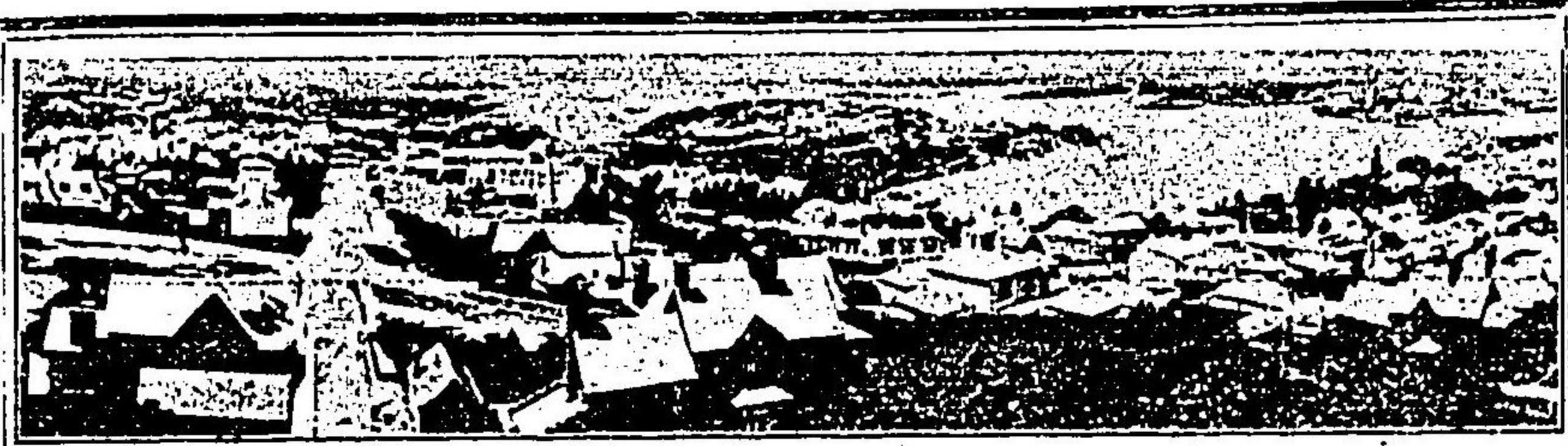




シドニー市よりポート・ジャクソン湾を望む

都會 濠洲の都會は、地勢上より悉く沿海地に位す。殊に東岸は良港に富めり。東岸のタウンズビル、ブリズベーン、シドニー、南岸のメルボルン、アデレードを最も著名なる都會とす。西岸にはパルス、アルバニーの都會あり。又本洲の北東端ヨーク岬は、ニューギニアとの間に、トレス海峡をなし、峽間に木曜島あり。眞珠貝の産地にして、其の採集のため、本邦人此の島に在留するもの千人に及ぶ。

メルボルンは、ポート・フィリップ湾に臨み、ウィリアムスタウンを外港とす。島内第一の大都にして、鐵道四通し、人口四十九萬あり。本洲の輸出港にして、羊毛、金、穀物、麵粉、パタ等を輸出し、羊毛、棉花、鐵、鋼鐵等を輸入す。日本郵船會社は、横濱より此の地に濠洲線を開き、毎月



一回往復す。邦人の在留するもの其の附近を併せて四十五人に過ぎず。アデレードはセント・ビンサン湾に臨み、羊毛の輸出盛んなり。

シドニーは、ポート・ジャクソン湾に臨み、天然の良港にして、人口四十五萬あり。羊毛、皮革を輸出し、其の繁盛メルボルンに次ぐ。附近に炭田多く、北方のニューカースルと共に、石炭の輸出盛んにして、工業漸やく盛んなり。此の地はオーストラリア艦隊の根據地なり。又帝國總領事館あり。

ブリズベーンはシドニーの北に位し、金羊毛の輸出盛んなり。日本郵船會社の定期船はシドニー、プリズベーン、タウンズビル及び木曜島に寄港す。タウンズビ





ルに帝國領事館あり。在留民は其の附近を合せて千四百人あり。

パルスは本洲の南西岸に位し、フレマントルを外港とし、其の南方のアルバニー港と共に良港と稱せらる。兩港間に鐵道を通す。

住民 土人はオーストラリア族なれど現住民の多數は英人の子孫なり。支那人亦少なからず。人口はビクトリア、ニューサウスウェールズに最も多く、西オーストラリアに最も少ない。言語は英語にして、宗教は耶蘇新教行はれ、教習は普通教育稍進歩し、大學校はメルボルン及びシドニーにあり。千九百一年以來、聯邦を組織して共和政治を行ひ、聯邦總督は英皇帝を代表して、本島及タスマニアの政事を統べ、其の下に内閣ありて行政を行ひ、聯邦議會ありて法律を議定す。

産業貿易 牧畜、鑛業、農業を主とすれども、商業、工業亦日を追ふて盛んなり。貿易の最も盛んなるはニューサウスウェールズ及びビクトリアにして、専ら英本國との間に行はる。我が國へは羊毛、小麥、靴底皮、燐酸肥料等を輸出し、我が國よりは米、羽二重、絹手巾を輸入す。鐵道は最もビクトリアに發達し、各州にも敷設せらる。されど、其の軌道一ならざるが爲めに頗る不便なり。電線は南オーストラリアを縦貫す。汽船は沿海及び歐亞米三大洲間に定期航路を開く。

タスマニア島 濠洲聯邦の一にして、オーストラリアの南東に位し、バス海峽を隔て、ビクトリアに對す。島内山多く、良材に富み、低地には小麥、オート麥を産し、牧羊亦盛んに行はる。又金銀、銅、錫の採掘も漸く盛んなり。氣候の溫和なること世界第一と稱せらる。首府ホバートは良港にして、本



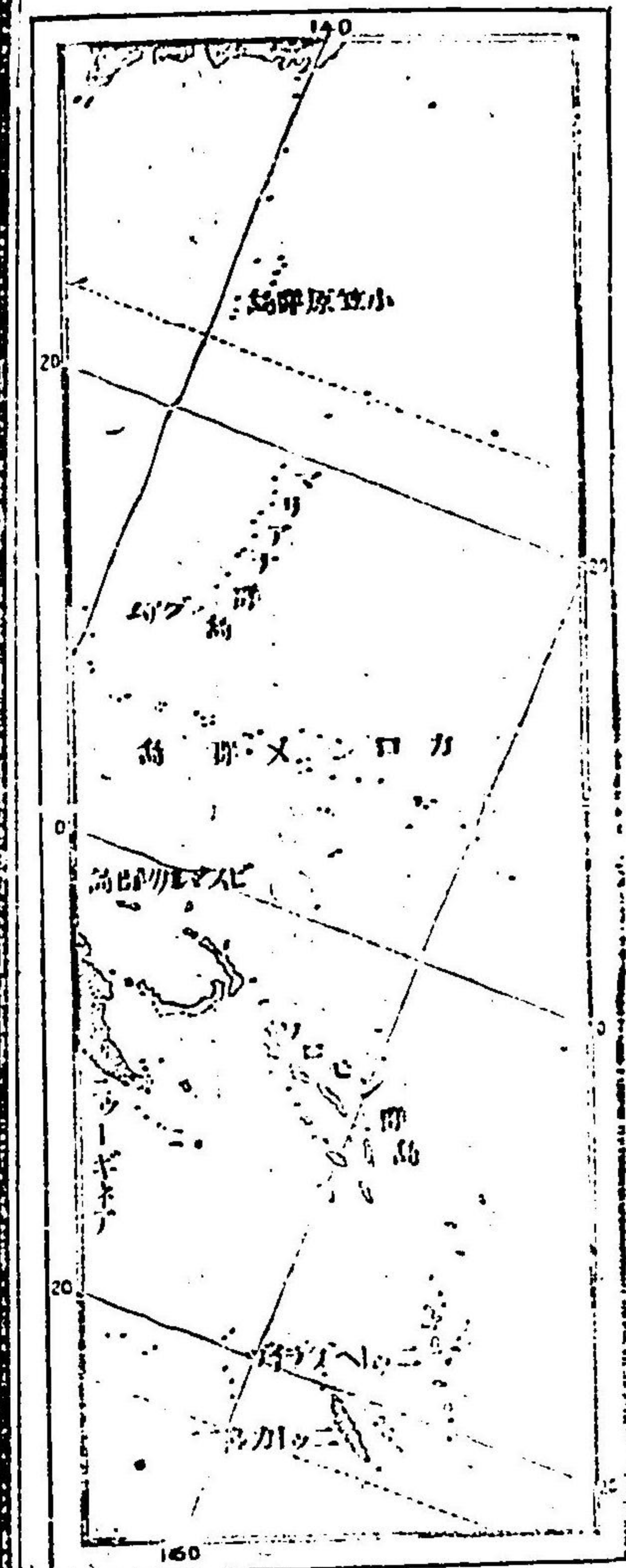
島の中心市場とす。北方のローンセストンと共に羊毛の輸出盛んなり。  
LAUNCESTON

**英領ニュージーランド** オーストラリアの南東に位する群島にして、北島・南島最も大なり。兩島共に山地多く、平野は西岸に狭くして東岸に廣く、河湖多くして水利に富めり。山地には良材の森林あり、平野には小麥・オート麥を産し、牧羊殊に盛んなり。又兩島共に金・石炭を産す。北島のウヰリントンWELLINGTONは南北兩島間にあるクック海峽COOKに面し、凍肉・罐詰毛織物等の工業行はれ、外國貿易最も盛んなり。オークランドAUCKLANDは島内第一の都會にして、其の西岸にあり。濠米兩洲間の通航汽船は必ずこゝに寄航す。貿易は英本國及びオーストラリアの間に行はれ、羊毛・凍肉・金・穀物等を輸出し、織物・鐵・鋼・鐵器・器械・砂糖等を輸入す。現住民は大抵英人の子孫なり。支那人亦

多し。土人は自からマオリMAORIと稱し、東マライ種に屬す。宗教は耶蘇新教最も盛んなり。

### ミクロネシア MICRONESIA

ミクロネシアは、我が小笠原島の南に連れる諸群島にして、其の主なるものは、マリアナMARIANNE・ナカロンCALOONES・ヌマルシルMARSHALL・シルベルベルGILBERT・エリス等の諸群島とし、マリアナ群島の火山作用によりな





れる外、他は概ね珊瑚礁より成る。マリアナ群島は千餘の火山列島より成り、小笠原群島を南に距ること海路僅かに五百哩とす。其の最も大なるものをグアム島と云ふ。カロ  
 ンヌ群島は、マリアナ群島の南方に位する五百餘の小島にしてコブラを輸出す。マルシル群島はカロンヌ群島の北東にあり、またコブラを輸出す。ジルベルト群島は、マルシル群島の南にあり、其の中の大洋島は全島殆ど燐礦より成り、現今盛んに採掘せらる。其の南方にエリス群島あり。以上の諸群島は、グアム島の北米合衆國に屬し、ジルベルト及びエリス兩群島の英國に屬する外、悉くドイツ領とす。諸群島の土人は概ね東マライの諸種族とす。

メラネシア MELANESIA

メラネシアはミクロネシアの南に位する諸群島にして、其の主なるものは、ニールギ子ア、ビスマルク、ソロモン、ニールヘブライツ、ニールカレドニア、ロアヨール、テフジの諸群島等とす。此等の群島は火山作用によりて成りしものなれば、島内火山多く、沿海には珊瑚礁相連る。ニールギ子アはオーストラリアの北方に位し、一にバプアン島といふ、島内山多く、氣候炎熱なり。山地には檀木の深林茂り、低地には甘蔗椰子等を産す。動物にはカンガルー、鱈魚及び極樂鳥等あり。南東部は英國に屬し、北東部はドイツに屬し、西部はネーデルラントに屬す。輸出品は眞珠、コブラ等なり。ビスマルク群島及びソロモン群島は、共にニールギネアの北東に位し、ニールヘブライツ群島は、ソロモン諸島の南東にあり、ニールカレドニア群島及びロアヨール等



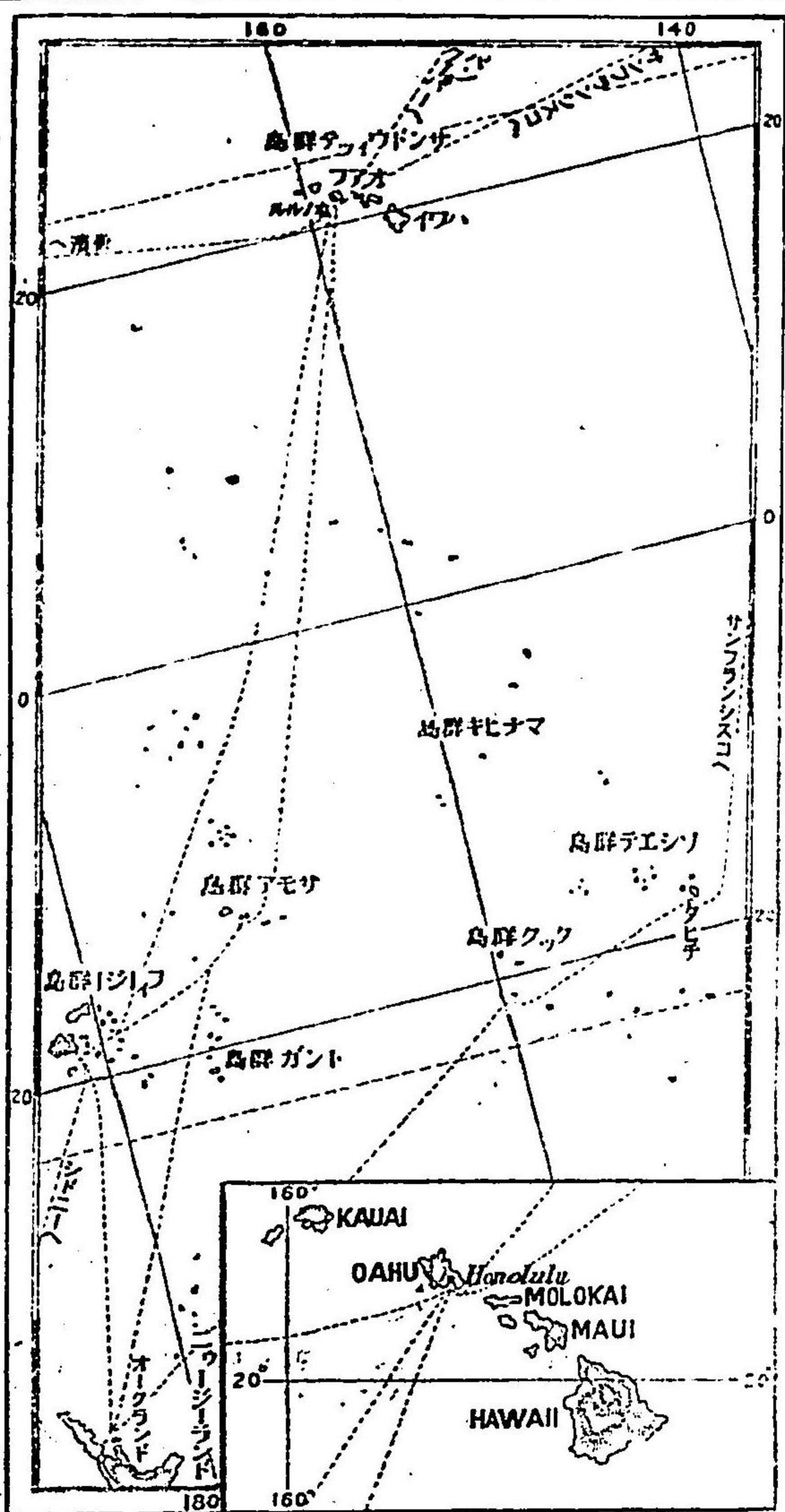


島は、ニウーヘブライツ群島の南西にあたる。ニウーカレドニアは、ニッケル・コバルトの産地として著はれ、本邦人多く出稼す。フィジー群島は、ニウーヘブライツ群島の東に位し、オセアニアの諸群島中、最も繁盛の殖民地なり。砂糖・棉花・コブラ・バナナの輸出夥しく、首府スバは其の要港なり。濠米兩洲間の通航汽船は、こゝに寄港するを常とす。以上諸群島中、ビスマルク・ソロモン諸群島は、ドイツに、ニウーカレドニア・ロア・ヨーテ群島はフランスに、フィジー島は英國に屬す。ニウーヘブライツは英佛の保護を受く。諸群島の土人は概ねパプアン族なり。

### ポリネシア POLYNESIA

ポリネシアは、赤道の南北四十餘度の間に亘り、北端のサン

ドゥ、チ群島を初めとし、マルキーズ・ソシエテ・サモア・トンガ・クック・オーストラルの諸群島より成る。サントゥ、チ群島一にハワイと稱し、八島より成り、ハワイ島最も大なり。ハワイ島にはロアタアの二大活火山あり。地





味は肥沃にして米・甘蔗・芭蕉・珈琲・棉等を産す。首府ホノル、  
 は、オアフ島の南岸にあり。港内水深く濠亞米三大洲通商の  
 要路に當るを以て貿易頗る盛んなり。輸出品の主なるもの  
 は砂糖・米・珈琲・バナナ・鳳梨等にして、輸入品の主なるものは、  
 雜貨・食料品・織物・穀類・木材・機械等とし、専ら合衆國・英國の間  
 に行はる。帝國總領事館ありて本邦人の在留するもの五萬  
 八千人に及ぶ。

マルキーズ群島は、サンドウチ諸島の南方に位する火山列  
 島にして、風景極めて佳なり。パウモツ群島は、其の南方に位  
 す。ソシエテ群島はパウモツ群島の西方に連る其のタヒ  
 チ島は、氣候溫和風景の絶佳なるを以て稱せらる。眞珠貝・ユ  
 プラ・棉・珈琲を産す。サモア群島はソシエテの北西に位し、  
 トンガ群島はサモア群島の南西に位し、盛んにコブラを産

す。クック群島オーストラル群島は、共にトンガ群島の南東  
 に位す。サモア群島タヒチ島は濠亞米兩洲間の航通路にあ  
 たる。

以上の諸群島中サンドウチ群島は北米合衆國に屬し、マル  
 キーズ・パウモツ・ソシエテ・オーストラルの諸群島は共に佛  
 國に、トンガ・クック諸島は英國に屬す。サモアは東半部は合衆  
 國に、西半部はドイツに屬す。諸群島の土人は概ね京マラ  
 イの諸種族なり。

中等新地理教科書 外國之部上終



アジア・オセアニア重要諸國及び諸屬地比較一覽表

國名又は屬地	面積	其の比	人口	其の比	首府
日本帝國	二七 <sup>千九百</sup>	一、〇	四、七〇〇 <sup>萬</sup>	一、〇	東京
朝鮮	一四	〇、五	一、〇〇〇	〇、二	京城
支那本部	七一九	二六、六	四二、六〇〇	九、一	北京
支那	二五八	九、五	四〇、七三〇	八、七	
滿洲	六一	二、三	八五〇	〇、二	
シベリア	四〇	一、五	七七〇	〇、二	バンコク
ペルシヤ	一〇五	三、九	九五〇	〇、二	テヘラン
アロシベリア	八二二	三〇、一	五七三	〇、一	
スイドリンド(ビルマを併す)	二九七	一〇、〇	二九、四三六	六、三	カルカッタ
スリンドシナ	六一	二、三	一、五五九	〇、三	サイゴン
北米合衆國	二一	〇、八	八〇〇	〇、二	マニラ
南米合衆國	一一四	四、六	三、六〇〇	〇、八	パタビア
オーストラリア	五〇四	一八、七	三七七	〇、一	

新地理教科書外國之部

各定價金五拾五錢

明治三十六年十月廿五日初版印刷  
 明治三十七年一月三十日初版發行  
 明治三十七年一月廿八日再版印刷  
 明治三十七年二月七日再版發行

東京市牛込區市ヶ谷仲之町五十八番地

地理教授研究會

編者 代表者 淺川信方

發行兼印刷者 吉川半七

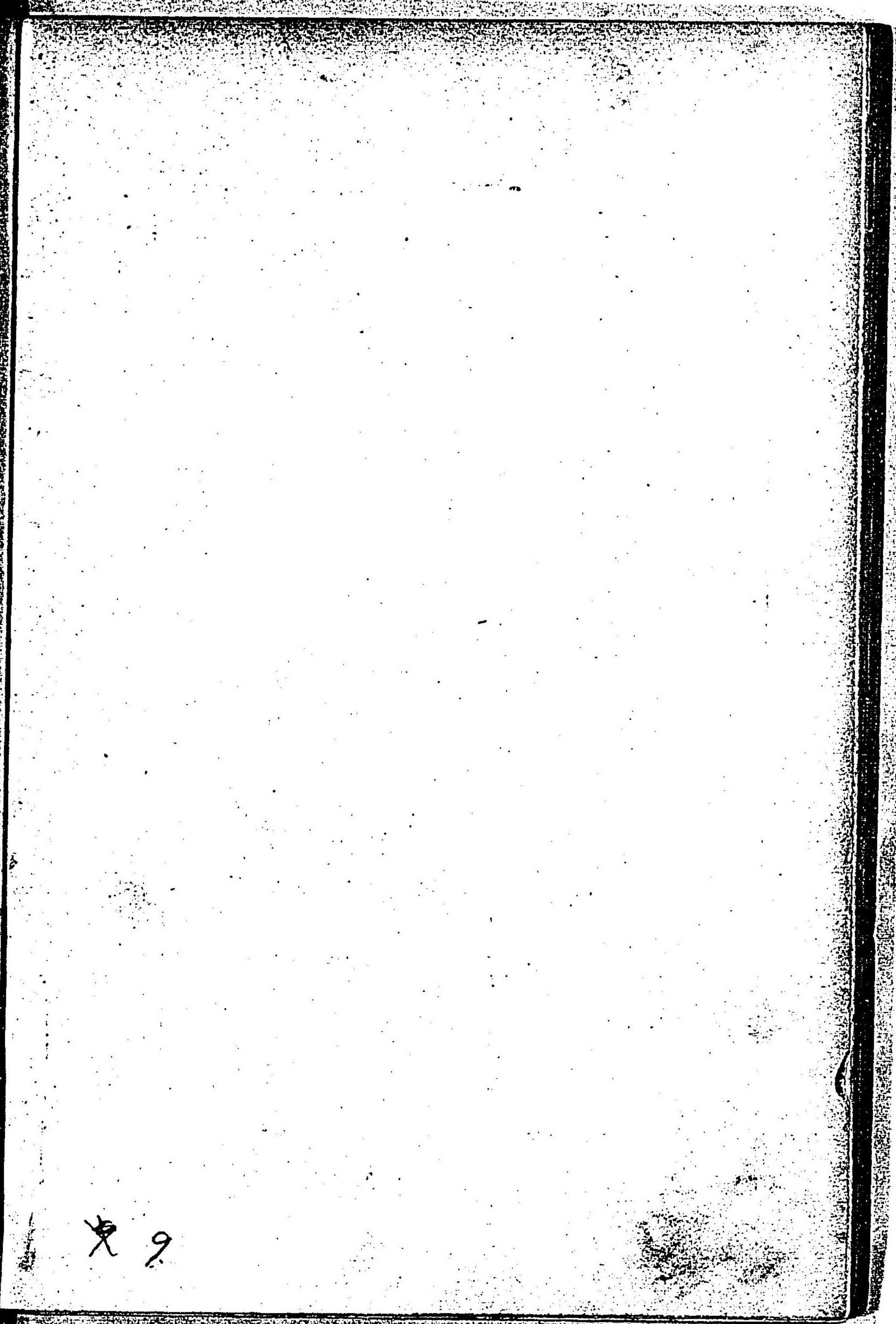
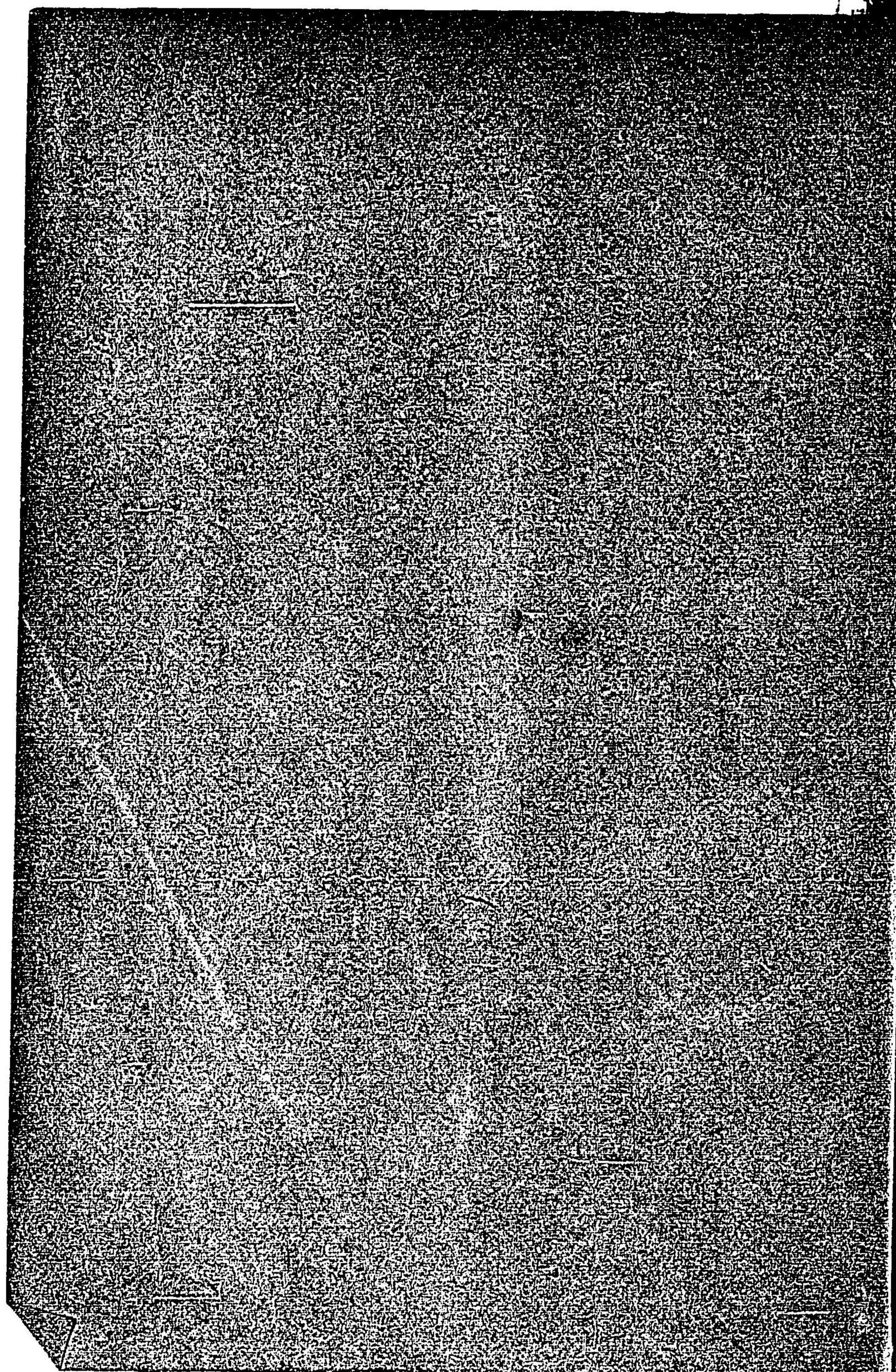
印刷所 株式會社 英舍

東京市京橋區南新屋町廿六七番地

發行所 東京市京橋區南傳馬町一丁目 吉川弘文館  
 發賣所 東京市日本橋區通り三丁目 吉川弘文館  
 同 大阪市東區南本町四丁目 吉川弘文館  
 關西代理店 積文社

著作權所有



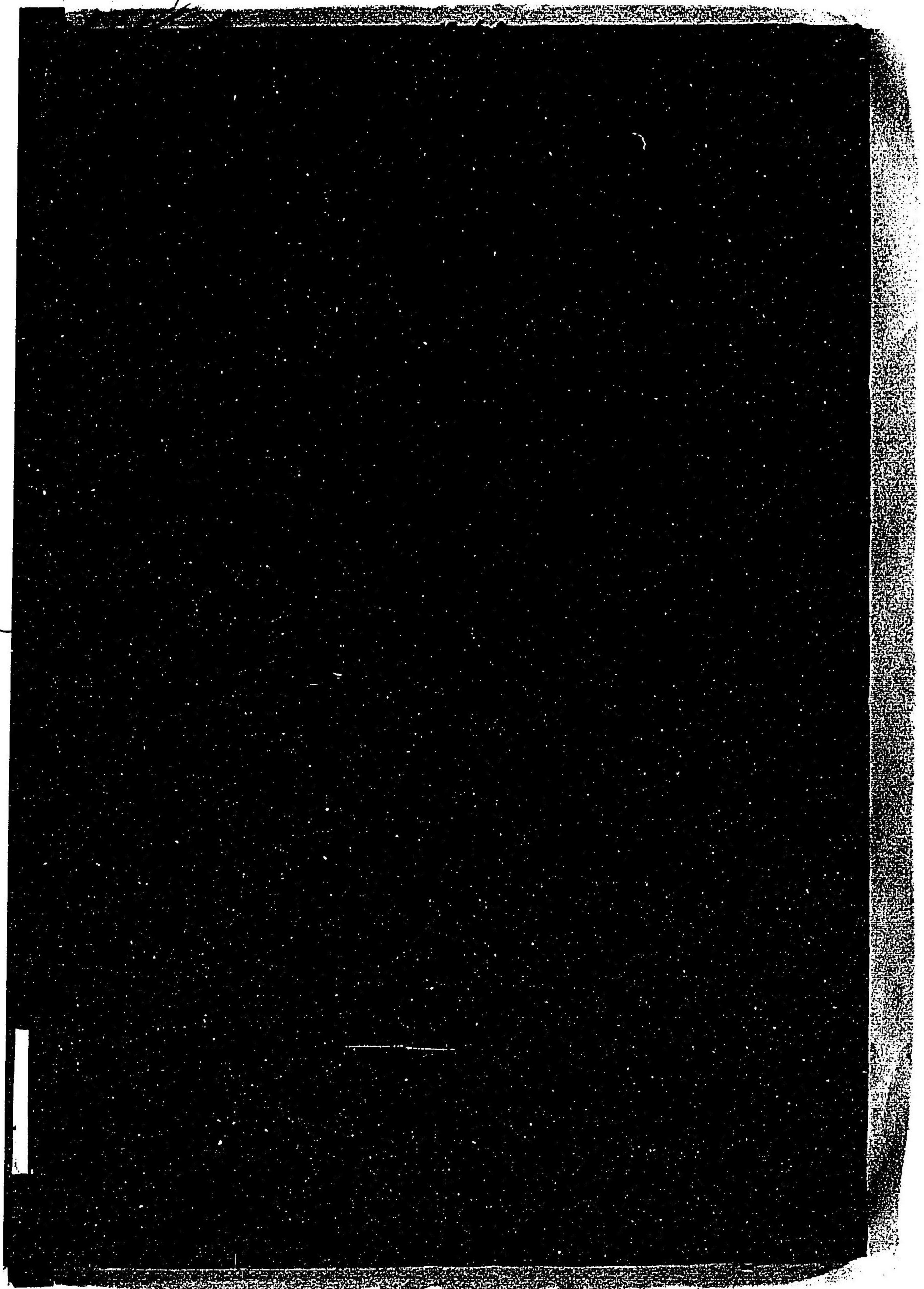


9



77  
375







022112-001-7

77-375

中等新地理教科書

地理教授研究会／編

上

M37

ADA-0486





